

東北地区大学図書館協議会誌

第 57 号
平成 18 年 4 月



青森大学・青森短期大学附属図書館

加盟館一覧

図書館の集客力を高めるためのささやかな工夫

表紙裏面

東北大学附属図書館工学分館	米澤 誠	1
---------------	------	---

「図書館のすすめ」執筆体験

福島県立医科大学附属学術情報センター	西戸 雅博	3
--------------------	-------	---

フレッシュ・パーソン・セミナーに参加して

東北福祉大学図書館	稻妻 晶子	5
-----------	-------	---

第 60 回東北地区大学図書館協議会総会

日 程	8
-----	---

総会資料	9
------	---

総会議事要録	29
--------	----

参加者名簿	36
-------	----

図書館統計年報

協議会総会会場一覧	39
-----------	----

東北地区大学図書館協議会役員館一覧	42
-------------------	----

東北地区大学図書館協議会防災連絡網設置要項（国立部会、公立部会）	43
----------------------------------	----

東北地区大学図書館間相互利用手続き申合せ	44
----------------------	----

東北地区大学図書館協議会会則等	46
-----------------	----

加盟館職員名簿	47
---------	----

	52
--	----

東北地区大学図書館協議会加盟館一覧

(国 立 15 館)			
弘前大学附属図書館	036-8560	弘前市文京町1	(017)39-3155
岩手大学情報メディアセンター図書館	020-8550	盛岡市上田3-18-8	(019)621-6082
東北大学附属図書館	980-8576	仙台市青葉区川内27-1	(022)795-5911
同 医 学 分 館	980-8575	仙台市青葉区星陵町1-1	(022)717-7972
同 北 青 葉 山 分 館	980-8578	仙台市青葉区荒巻字青葉6-3	(022)795-6368
同 工 学 分 館	980-8579	仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-03	(022)795-5892
同 農 学 分 館	981-8555	仙台市青葉区堤通雨宮町1-1	(022)717-8882
宮城教育大学附属図書館	980-0845	仙台市青葉区荒巻字青葉149	(022)214-3347
秋田大学附属図書館	010-8502	秋田市手形学園町1-1	(018)889-2273
同 医 学 部 分 館	010-8543	秋田市本道1-1-1	(018)884-6052
山形大学附属図書館	990-8560	山形市小白川町1-4-12	(023)628-4904
同 医 学 部 分 館	990-9585	山形市飯田西2-2-2	(023)628-5054
同 工 学 部 分 館	992-8510	米沢市城南4-3-16	(0238)26-3019
同 農 学 部 分 館	997-8555	鶴岡市若葉町1-23	(0235)28-2810
福島大学附属図書館	960-1293	福島市金谷川1	(024)548-8083
(公 立 12 館)			
青森公立大学図書館	030-0196	青森市大字合子沢字山崎153-4	(017)764-1554
青森県立保健大学附属図書館	030-8505	青森市大字浜館字間瀬58-1	(017)765-2011
岩手県立大学メディアセンター	020-0193	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子152-52	(019)694-2070
宮城大学総合情報センター	981-3298	宮城県黒川郡大和町学苑1	(022)377-8314
秋田県立大学図書・情報センター	010-0195	秋田市下新城中野字街道端西241-438	(018)872-1561
秋田公立美術工芸短期大学附属図書館	010-1632	秋田市新屋大川町12-3	(018)888-8106
国際教養大学図書・情報センター	010-1211	秋田市雄和椿川字奥椿岱193-2	(018)886-5907
山形県立保健医療大学附属図書館	990-2212	山形市上柳260	(023)686-6671
山形県立米沢女子短期大学附属図書館	992-0025	米沢市通町6-15-1	(0238)22-7334
会津大学情報センター附属図書館	965-8580	会津若松市一箕町鶴賀字上居合90	(0242)37-2545
会津大学短期大学部附属図書館	965-8570	会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1	(0242)37-2458
福島県立医科大学学術情報センター	960-1297	福島市光が丘1	(024)547-1111
(私 立 33 館)			
青森大学・青森短期大学附属図書館	030-0943	青森市幸畑2-3-1	(017)738-2001
東北女子大学附属図書館	036-8530	弘前市大字豊原1-2-1	(0172)33-2289
八戸大学・八戸短期大学図書館	031-8588	八戸市大字美保野13-98	(0178)30-1695
八戸工業大学図書館	031-8501	八戸市大字妙字大開88-1	(0178)25-8032
弘前学院大学附属図書館	036-8577	弘前市稔町13-1	(0172)34-5211
岩手医科大学附属図書館	020-8505	盛岡市内丸19-1	(019)651-5111
富士大学図書館	025-8501	花巻市下根子450-3	(0198)22-4986
盛岡大学大学図書館	020-0183	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込808	(019)688-5561
修紅短期大学図書館	021-0902	一関市字竹際49-1	(0191)24-2211
岩手看護短期大学図書館	020-0151	岩手県岩手郡滝沢村大金字千ヶ窪14-1	(019)687-3864
仙台大学附属図書館	989-1693	宮城県柴田郡柴田町船岡南2-2-18	(0224)55-1399
仙台百合女子大学図書館	981-3107	仙台市泉区本田町6-1	(022)372-3254
石巻専修大学図書館	986-8580	石巻市南境新水戸1	(0225)22-7718
東北学院大学中央図書館	980-8511	仙台市青葉区土樋1-3-1	(022)264-6491
同 多賀城キャンパス図書館	985-8537	多賀城市中央1-13-1	(022)368-1206
同 泉キャンパス図書館	981-3193	仙台市泉区天神沢2-1-1	(022)375-1171
東北工业大学附属図書館	982-8577	仙台市太白区八木山香澄町35-1	(022)229-1151
東北福祉大学図書館	981-8522	仙台市青葉区国見1-8-1	(022)717-3319
東北文化学園大学総合情報センター図書館	981-8551	仙台市青葉区国見6-45-1	(022)233-3878
東北薬科大学附属図書館	981-8558	仙台市青葉区小松島4-4-1	(022)727-0061
宮城学院女子大学図書館	981-8557	仙台市青葉区桜が丘9-1-1	(022)279-5658
尚絅学院大学図書館	981-1295	名取市ゆりが丘4-10-1	(022)381-3440
秋田経済法科大学附属図書館	010-8515	秋田市下北手桜字守沢46-1	(018)836-2405
東北芸術工科大学図書館	990-9530	山形市大字上桜田200	(023)627-2044
羽陽学園短期大学附属図書館	994-0065	天童市大字清池1559	(023)655-2385
山形短期大学附属図書館	990-2316	山形市片谷地515	(026)688-7544
いわき明星大学図書館	970-8551	いわき市中央台飯野5-5-1	(0246)29-7121
奥羽大学図書館	963-8503	郡山市富田町三角堂31-1	(024)932-8931
郡山女子大学図書館	963-8503	郡山市開成3-25-2	(024)932-4848
(昌平図書館)東日本国際大学・いわき短期大学	970-8567	いわき市平鎌田字寿金沢37	(0246)35-0416
日本大学工学部図書館	963-8642	郡山市田村町徳定字中河原1	(024)956-8639
桜の聖母短期大学図書館情報センター	960-8585	福島市花園町3-6	(024)533-3840
福島学院大学図書館情報センター	960-0181	福島市宮代乳児池1-1	(024)553-2087

第60回東北地区大学図書館協議会

第60回 東北地区大学図書館協議会 総会



青森大学 栗原 学長



青森大学・青森短期大学 菅 館長



東北大學 野家 館長



議長団



第60回総会風景



国立部会風景



公立部会風景



私立部会風景

図書館の集客力を高めるためのささやかな工夫

東北大学附属図書館工学分館 米澤 誠

はじめに

どの大学図書館でも、学生の図書館ばかりが問題となっているのではないでしょうか。その一つの要因として、ウェブの検索エンジンが学生の情報収集に大きな影響力をもち、相対的に図書館資料の価値が低く見られていることがあげられます。このことは、OCLCが2005年に発表した欧米の情報利用者の意識調査でも明らかにされています。¹⁾

本稿では、学生に魅力的な図書館となるようにと、2005年度に当館で試みてきたいいくつかの工夫について紹介いたします。

1. スペースとしての魅力向上

閲覧机などの学習環境の整備をするとなると多大な経費がかかります。そこで当館では、手軽に取りかかれるものとして、玄関ホールで集客力を上げる工夫を考えました。

(1) 気軽に読める雑誌などの充実

まず着手したのは軽読書用の雑誌の見直しでした。若い学生が楽しめるような種類の雑誌を取り揃えることとしたのです。

従来、趣味系の雑誌としては、『アサヒカメラ』、『音楽の友』、『旅』、『山と渓谷』などの雑誌を置いていました。しかしこれだけでは、現代の学生にはもの足らないではという印象をもちました。そこで、大学生協書籍部の店頭の品揃えを参考にして、学生・教職員向けに新たに次のような雑誌を取り揃えることとしました。

(一般情報誌)『ダ・ヴィンチ』、『DIME』、『日経パソコン』、『Number』

(地域情報誌)『S-style』、『東北じやらん』

さらに、雑誌の他に次のような情報誌を購入し、地元以外から入学した学生が、有用な生活情報をえることができる図書館となるようにしました。

『るるぶ仙台・宮城』、『ふるぶ南東北』、『レツツみやぎ』、『街の達人でか字便利情報地図 仙台・宮城県』、『食い道楽百科』

当館は工学部キャンパスの中央に位置することからも、学生・教職員の憩いの場になるべきと考えました。そのためには、気軽に立ち寄って気軽に読める雑誌類を取り揃えることがよいと思ったのです。

揃えることがよいと思ったのです。

(2) 展示会の開催

当館はじめての試みとして、次のような展示会を開催しました。

- ・「東北大学とAINシュタイン：相対性理論誕生百周年記念展示」(2005年7月19日～8月11日) [本館・4分館合同開催]
- ・「シビルエンジニアとしての和算家」(2005年10月19日～11月15日) [当館単独開催]

ブックディテクショングートの外で展示ケースがないという制約から、両展示会とも資料現物の展示はせず、パネル展示という方式で実施しました。

特にAINシュタイン展は好評で、利用者の感想ノートにも「常設展として欲しい」、「同様の企画展示を続けて欲しい」という意見が多数ありました。このような展示活動も、図書館の魅力を高める企画ではないかと思いました。

2. ストックの充実

(1) 新刊図書の充実

夜間開館の学生バイトや日中の利用者をつかまえて聞いてみると、当館の図書資料は鮮度が古く、取り揃えが悪いという意見が多くありました。事務処理の状況を確認すると、教員主体の学生用図書選定は年1回の頻度で、どうしても年度末納品となってしまうという問題点が分かりました。

そこで館内職員で相談し、図書館員が新刊案内誌を活用して定期的に選定を行い、できるだけ新鮮な学生向けの資料を収集することとしたのです。工学部の学科構成に合わせ、次のような分野分けで担当職員を決め、選定を行うこととしました。

① 機械知能・航空工学、② 電気情報・物理工学、

③ 化学・バイオ工学、④ 材料科学、⑤ 建築・環境工学

定期的な選定と発注が軌道にのり、新刊図書がぞくぞくと入荷されるようになってきた頃、当館の整理・運用係から新たに、「新刊図書を置いておくコーナー」と「新刊図書のカバーや帯の掲示板」の提案がありました。早速設置してもらいましたが、立ち止まって新刊図書のカ

バーや帯を見ている学生見かけるにつけ、図書に対する学生の注目度が高まったと実感しました。

(2) シラバス掲載参考図書の補充

これも学生の聞き取りから分かったことですが、授業で紹介された図書は、急いで借りに来ないと入手できないという問題が判明しました。当館では、シラバス掲載の参考図書は必ず購入するという方針でしたが、一律1冊では不足なのだとすることが分かったのです。

そこで、工学部の教務係から各科目の履修者数を教えてもらい、その数に応じた複本を取り揃えることとしました。この作業も、前述の分野別の選定担当者が行い、それぞれの分野の資料充実を図ったのです。

3. スタッフによる支援

(1) 講習会の実施

2005年度はじめての試みとして、レポート作成と情報探索法の講習会を実施しました。これは、冒頭に述べたような学生の情報収集行動において検索エンジンが主流となっている状況に加え、「情報探索法」だけだと何のために探すのかという目的意識がないため、情報探索に関するインセンティブが高まらないという状況を開拓する試みとして考えたものでした。

「よいレポートを書くためには、よい材料を探し出すことが肝心」を全体コンセプトにして、「上手なレポートの作り方」(45分)と「上手な文献の探し方」(45分)をセットとし、合計8回開催しました。参加者数は総計約30名と少数でしたが、受講者とのコミュニケーションを通じ

て、今、学生が何を求めていたかを実感できたことが大きな収穫でした。

特に、授業の中ではレポートの書き方や文献の探し方を体系的に教わる機会がなく、研究室に配属されてから先輩に聞いているという教育現場の状況が分かり、図書館としてはこの点をもっと支援することができるのではと考えたのです。

(2) 「図書館のすすめ」改訂版の作成

東北地区大学図書館協議会で製作した「図書館のすすめ」を、当館向けの内容に改訂した版を作成し、2006年4月に工学部の新入生に配付することとしました。この冊子は、まさに図書館に学生を呼び込むための内容をもつたものなので、早速改訂作業を行い作成したのです。

さいごに

以上、図書館運営の重要な要素であるスペース（建物）、ストック（蔵書）、スタッフ（図書館員）という3Sの視点から、図書館サービスを向上し、集客力を高めるささやかな取り組みについて紹介しました。本協議会加盟各館での活動の参考にしていただければ幸いです。

参考文献：

- 1) Perceptions of libraries and information resources : a report to the OCLC membership, OCLC, 2005.11, <http://www.oclc.org/reports/2005perceptions.htm>

（よねざわ・まこと）

「図書館のすすめ」執筆体験記

福島県立医科大学附属学術情報センター 西戸 雅博

あらためて「図書館のすすめ」とは

皆様ご存知の小冊子「図書館のすすめ - 大学図書館利用ガイド - 2005」は、東北地区大学図書館協議会第60回記念事業として加盟館の職員が共同で編集執筆して作成した小冊子です。大学図書館サービスの全体像から所蔵資料の検索などの大学図書館の基本的な利用法、レポート作成のヒントや著作権の基礎知識までがコンパクトにまとめられています。また、汎用的な内容になっていますので、どの大学の学生でも利用できます。この冊子をこれから大学で学んでいく新入生にはぜひ役立て欲しいと思います。大学図書館をあまり利用したことがない学外の利用者にとっても参考になると思いますので、この冊子を地域貢献に使うこともできるでしょう。

分担項目が決まる

第1回目の編集会議で、掲載する項目の検討が行われました。掲載する項目は、新入生向けの冊子を作るということを考慮しながら決定されました。また、各編集委員の執筆分担項目も決められ、私は「検索の上達法（キーワードと検索技法）」（図書館のすすめ p.14-15）を担当することになりました。データベースやサーチエンジンを使うときのキーワードを選び方や複数のキーワードを組合わせた検索法を紹介する項目です。私の担当は1項目だけでしたが、複数項目の執筆をされた編集委員も多数います。他の委員より負担が少なくて、なんか申し訳ない気分です。

とにかくコンパクトに

原稿は基本的に2ページに1項目（見開きの両側に1項目）で作成ということになりましたが、実際執筆してみると、なるべく図表を入れながらということを考えていたせいか、なかなか2ページにはおさまりませんでした。執筆中は如何にして2ページにおさめるかということを常に考えていたように思います。

各委員から集まった第1稿は一見したところ文字が多いという印象を受け、難易度も目指すところよりもちょっと高かったようでした。それで、第2回編集委員会では第1稿を検討し「文字を減らす（図表・写真を増やす）」、「文体をやわらかく」、「新入生向けの難易度に」などの

視点から原稿を修正することになりました。私が担当した項目の第1稿には、「統制語（シソーラス用語）」に関する記述を入れていましたが、新入生向けの冊子であることを考え、この記述を削除して、紙面スペースを作り出しました。スペースが出来たことで新たな画面例などを入れることができました。

いい検索例が出てこない

簡単なようで簡単でなかったのが適切なキーワードの例を探し出すことでした。例を考えるときは、何かいい言葉はないかと各種辞典類のページをめくって探していました。より広い概念やより狭い概念のキーワードに変えて検索してみるという説明では、「ダイオード」、「発光ダイオード」、「青色発光ダイオード」を例として用いましたが、このときは各キーワードが包含関係にある例を探しました。たしかこのダイオードの例はJSTのシソーラスを参考にして思いついたように記憶しています。

また、論理演算の例を考え出すときは、どのように論理演算を使えばよいのかがひと目で伝わるような例を作り出したいと考えていました。「OR検索」の場合だと、同義語や類義語もまとめて検索できるということを伝える例を挙げようといろいろ考えました。「NOT検索」については、いい例だったのか少し不安が残っています。ちなみに最終稿に至る途中の原稿では、論理演算のところでは最終稿とは違う例を使っていました。その原稿には「さしさわりのない事例へ」という私のメモが残っています。少々生々しい例だったようです。

利用法について

「図書館のすすめ」の利用法ですが、フリーペーパーのように備え付けておいて自由に持っていくてもらう。新入生など対象を決めて配布する。図書館利用の説明会などの配布資料にするなどの使い方があるのではないでしょうか。

2006年1月には東北地区大学図書館協議会のウェブサイトが公開されました。ちなみに、編集執筆委員は、ウェブサイト検討ワーキンググループとなり、活動は現在も続いている。協議会ウェブサイトでは、「図書館のすすめ」のオンライン版も閲覧できるようになりました。各

館のウェブページからリンクを張っておけば、ウェブサイトの訪問者をオンライン版に導くことも出来るでしょう。学外者向けのページからのリンクを張って、学外者に大学図書館の使い方を知ってもらえるようにするというのもいいのでは無いでしょうか。

ちなみに、「図書館のすすめ」の原稿ファイルは、オープンソースとして利用できます。フリーソフトウェアの世界では、オープンソースライセンスといえば、再頒布や、ソフトウェアの変更と派生ソフトウェアの作成を認めるなどの特徴をもつライセンスのことです。このライセンスの下で多くのフリーソフトウェアが世に送り出され、改良されてきました。フリーソフトウェアの世界には、知的財産権を声高に主張しないで作者以外の人も利用しやすいようにしておくことが、多くの人々ためになるという考え方があるようです。

「図書館のすすめ」の原稿がオープンソースで利用できるということは、利用条件に従えば、もともとの「図書館のすすめ」を自機関向けの内容に改変したり、これを基にして新たな資料を作り出すといった利用ができるということになります。「図書館のすすめ」の薄いた種が、様々なかたちで世に広がっていって欲しいと思います。

おわりに

編集会議は計5回開催され、原稿はおそらく第6稿まで作成されたと思います。それだけ内容の検討・修正が編集執筆委員および編集協力委員により重ねられてきたということになります。

この「図書館のすすめ」が、すべての図書館利用者の情報リテラシー向上に一役買うこととなれば幸いです。

フレッシュ・パーソン・セミナーに参加して

東北福祉大学図書館 稲妻 晶子

東北地区大学図書館協議会では初めての試みとなる初任者対象の研修会「フレッシュ・パーソン・セミナー」が去る平成17年12月8日、東北大学附属図書館にて開催され、東北地区の大学図書館22館より42名が参加しました。このセミナーに参加したのは図書館に採用及び配属等されて概ね2年未満程度の職員ということでしたが、12月に配属になったばかりという方もいれば、他の図書館に勤務した経験があつたりする“準フレッシュ”もいたようです。開催テーマは“図書館職員としての基礎知識”ということで、フレッシュパーソンも準フレッシュパーソンもフレッシュな気持ちをもって臨み、図書館業務についての全体像を確認できたとともに、その現状も把握することができました。

このセミナーは東北地区の各大学図書館職員が、最初に受ける地区全体の研修として位置づけられ、所属機関の違いに左右されない図書館員としての基本的な知識を身につけると同時に、地区内の職員との交流の機会を設け、人的ネットワーク形成を促すことを目的としています。大学図書館といつてもその規模はさまざまで、東北大のように職員が100人を超えるところもあれば、臨時職員も含め5人以下のところや2、3人のところもあるようです。そんな規模の違いを超えて、同じ図書館業務に携わる者同士が共に研修を受け、交流の機会を得ることはたいへん有意義なことであり、特に小規模図書館の職員にとっては心強いものです。そもそも図書館の機能というものは単独では限界があり、それは他の図書館とのつながりがあって初めて本来の役割を果たせるものです。図書館における人的ネットワークはそれを支える大切な要素です。また、今回のセミナーでは常勤・非常勤の関係なく受講できることができた点のひとつに挙げられます。図書館で働くにあたっての有るべき意識の持ち方に常勤・非常勤など関係なく、一人の図書館員として働くのですから、そういった配慮がなされていたことがとてもうれしいことでした。

セミナーは5つの講義と全体討議という形で進められました。それぞれの講義の内容と特に印象に残ったこと、参考になったことを挙げてみたいと思います。

①「大学図書館の役割」

東北大学附属図書館 謙訪田義美氏

大学図書館の位置付けと機能、果たすべき役割を東北大学附属図書館を例にあげてお話し下さいました。だれでもとりあえず情報を入手することができる時代において、図書館が持つ良質な情報資源や様々な機能をうまく利用してできること、そしてそれは図書館員の行動が鍵となるということなど、これからの図書館と図書館員の可能性が示されました。

②「図書館カウンターでの接遇

：利用者対応の実例を中心に」

東北大学附属図書館医学分館 今出朱美氏

講義の内容に入る前に一般の人が抱く図書館員に対するイメージ（貸出・返却のみの誰にでもできる簡単な仕事、のんびり・ゆっくりな仕事、生真面目で暗い雰囲気等）はテレビドラマによって増悪されているというお話をありました。仕事仲間とでもこの話題がよく取り上げられるますが、実際の現場はその正反対にあるのはみなさんご承知だと思います。そんなイメージを開拓したいという思いにとても共感を得ました。講義はまず利用者対応の基本についてです。ここで私は初めて「メラビアンの法則」というもの知りました。メラビアンの法則とは、人の印象を決定づけるものは言葉（言語情報）7%、語調（聴覚情報）38%、その他（視覚情報）55%であるといふものです。ですから、第一印象は表情や服装、話す抑揚や間によってある程度決定づけられるということです。利用しやすい図書館、利用したくなるような図書館として、図書館員の高度なスキルは当然要求されますが、人に与える印象というのも侮れない要素であると感じました。利用者対応で気をつけることとして、自己満足で終わらず相手の目的を考えて対応する、即答できないことは無理をしない、苦情を言われても相手のペースに乗せられない、などが挙げられました。どんな状況でも冷静に考え適切に行動できるよう心掛けていきたいです。

危機管理についての話題はいろいろなところで耳にします。図書館界でも最近よく取り上げられるようになりました。治安の問題もありますが、図書館先進国アメリカでは40年も前から認識していたということです。「危

機管理」と一言で言っても、天災・事故・盗難・利用者同士のトラブルや図書の紛失・落書きなど、図書館で起こるあらゆる問題に対処していかなければなりません。そのためにも、危機に直面した時の対処方法を検討し、全員共通の理解の上で実行できるようマニュアル化し、日ごろから訓練することで危機を最小限にとどめることができるということ、また、危機やトラブルが起きないための環境づくりをすることによってある程度回避できるということでした。私たちの対応一つで結果が分かれるとということに、責任の重さを感じました。

③「目録データの作成と提供」

宮城教育大学附属図書館 菅原淑子氏

目録情報サービスの品質管理について現在問題になっていることを書誌ユーティリティ課題検討プロジェクトの報告をもとにお話いただきました。きちんとした目録の仕事があつてはじめて今日の図書館情報活動が成り立つことを改めて知らされました。

④「資料の活用：NACSIS-ILLを中心」

東北学院大学中央図書館 小山純氏

国内・東北におけるILL利用状況、そして東北学院大学中央図書館の状況を分析したもので、ILL担当の私にとってはとても興味深いものでした。電子複写料金の全国平均は1枚30～35円であったり、東北学院大学附属図書館では増加する業務を減少させるために複写料金を値上げしてみたが依頼量が減らなかつたという実例などが挙げられました。また、東北地区にある大学図書館（分館含む）63館の2003～2004年のILL参加状況、学外相互協力の状況（受付の可否、複写料金、貸借期間）、NACSIS-ILLの依頼・受付件数とその増加率、利用者状況、所蔵状況、図書館員数をまとめた資料がとても参考になりました。自分の所属している図書館が相互利用上どのような位置にあるのかを把握することができ、統計の有用性やそのおもしろさにも気づきました。毎年とっている統計をもとに自館の状況を分析し、現在に至るまでどのような変化がみられるかまとめてみようと思いました。また、今後の動向と問題点としてモラルの向上があげられました。モラルの向上に関しては目録の品質維持でも挙げられており、これは図書館業務すべてに共通する課題であると思います。自分の仕事に誇りをもって真剣に取り組むことがモラル向上に繋がるのではないかと思います。

⑤「カレントトピックス

：大学図書館における情報リテラシー」

東北大学附属図書館 菅原透氏

大学図書館のリテラシー教育は学習・研究のために身につけておくべき基本的な情報活用技術を養うものです。知識提供型から問題解決・自己表現重視・情報発信型へ大学教育自体が変化し、それに伴い、図書館に求められる利用者教育も変化してきました。東北大学では授業として開講し、図書館員が実習を担当しているそうです。もはや従来の図書館利用指導・文献利用指導のみではそれを養うことが時間的・内容的に不可能なのかもしれません。求められるものに対して十分なものが提供できるかどうかは図書館員の腕に掛かりますから、図書館員のスキルアップは重要な課題です。東北大学図書館では教材の作成が結果的にスキルアップに繋がったということです。図書館で授業を持つということは受講者にとってはもちろんですが、それ以上に図書館員にとって有用な取り組みであるようです。

これからの図書館員にはプレゼンテーションスキル、自由な発想・活動を生むスキル、資料調査・発表のスキル、コミュニケーションのスキルなど、様々な能力が求められます。常にアンテナを張って状況の変化を受け止め、日々自分を更新していくことが必要です。

⑥全体討議

カレントトピックス

：「大学図書館における情報リテラシー」の公演内容について

前の講義を受けての全体討議です。7名ずつ6グループに分かれ、各グループには「効果的なテキスト・マニュアルの作成方法について」「効果的なスタッフ養成方法について」「教員及び他大学との効果的な連携方法について」というテーマが与えられ、それについてそれぞれの図書館で現在どのような取り組みがなされているか、また、抱える問題点などを出し合い、検討し、解決策あるいは解決のための課題を整理して全体発表するというものです。あらかじめ各グループには司会者、発表者が決められており、それぞれ進行役、まとめ役となって討議を進めていました。各グループにはアドバイザーとして東北大学図書館の先輩方が入ってくださり、討議の進め方やまとめ方、発表の仕方などを教えてくださいました。意見が途切れると助け舟を出してくださいました。先輩方の助けもあり、各グループ、テーマについての自分たちなりの解決法やこれから課題を整理でき、発表するこ

とができました。他の大学図書館の状況やそれぞれ日々の業務で感じていること、考えていることを率直に話し合え、短い時間でしたが良い機会を得ることができました。

セミナー終了後には懇親会が催され、セミナー参加者の半分が出席、今回お世話になった東北大学図書館のスタッフの方も加わり、情報交換も兼ねて嬉しい時間を過ごしました。遠くから参加の方は帰りの時間の都合上残念ながら参加できなかったようですので、次回開催の際は、余裕のあるスケジュールを組んでいただけたらと思います。

図書館の成長はそこで働く図書館員の力に大きく左右されます。これから図書館員には専門的な能力をはじめ

コミュニケーション能力など求められるものが数多くあります。また、それは更に増えていくでしょう。やはり所属の図書館だけでは限界がありますし、外に出て分かる自館・自分の姿もあるかもしれません。地域・他機関との交流はスキルアップやネットワークづくりの点において、これから最も必要とされることではないでしょうか。今回のフレッシュ・パーソン・セミナーをきっかけとして、東北地区でこのような活動が増えていくことを期待します。第一回目のセミナーに参加できたことはこれから図書館で仕事をしていく上で励みとなるでしょう。セミナーが回を重ねるごとに更に良いものへと発展していくことを望みます。

最後に、講師の方々、そしてこのセミナーを支えてくださったスタッフの皆様に感謝申し上げます。

第 60 回東北地区大学図書館協議会総会日程

開催期日 平成 17 年 9 月 15 日（木）

会場 ホテル青森

青森市堤町 1-1-23 TEL 017-775-4141 FAX 017-773-5201

当番地区 青森地区

当番館 青森大学・青森短期大学附属図書館

日 程

9月 15 日（木）

1. 受付 12:30 ~ 13:00

2. 開会式 13:00 ~ 13:20 3F「孔雀西の間」

(1) 開会の挨拶

当番館 青森大学・青森短期大学附属図書館
館長 菅 勝彦

(2) 歓迎のことば

当番大学 青森大学
学長 栗原 堅三

(3) 挨拶

常任幹事館 東北大学附属図書館
館長 野家 啓一

3. 議長団選出

4. 総会

(1) 報告事項 13:20 ~ 13:40

- ① 平成 16 年度会務報告について
- ② 平成 16 年度一般報告及び各部会報告について
- ③ 記念事業について
- ④ 平成 16 年度決算報告について
- ⑤ 平成 16 年度記念事業基金決算報告について
- ⑥ 平成 16 年度会計監査報告について
- ⑦ その他

(2) 協議事項 13:40 ~ 14:10

- ① 平成 17 年度事業計画（案）について
- ② 平成 17 年度予算（案）について
- ③ 平成 17 年度記念事業基金予算（案）について
- ④ 第 61 回総会当番地区（館）について
- ⑤ 平成 17 年度合同研修会について
- ⑥ 「図書館のすすめ」を他機関等へ配付することについて
- ⑦ 東北大学附属図書館の HP に東北地区大学図書館協議会のウェブサイトを開設することについて
- ⑧ フレッシュ・パーソンセミナーの開催について
- ⑨ 学術奨励賞について
- ⑩ 加盟館職員名簿の掲載について
- ⑪ 役員館の改選について
- ⑫ その他

i 加盟館の退会について

ii 合同研修会の在り方について

iii 東北地区大学図書館協議会略年譜の作成について

(3) 承認事項

データベース及び電子ジャーナルの利用方法について

(4) その他

5. 永年勤続表彰について

6. 部会 14:10 ~ 15:40

国立大学部会 3F「はまなすDの間」

公立大学部会 3F「はまなすCの間」

私立大学部会 3F「あすなろの間」

< 休憩 10 分 >

7. 全体会議 15:50 ~ 16:50 3F「孔雀西の間」

- ① 各部会からの報告
- ② 協議題・承認事項に関する質疑応答

8. 閉会式 16:50 ~ 17:00

(1) 次期当番館あいさつ

(2) 閉会のあいさつ

青森大学・青森短期大学附属図書館

館長 菅 勝彦

第60回総会資料

会務報告

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

昨年9月山形大学を当番館として開催された第59回総会以降の会務については、次ぎのとおりである。

1 平成16年度末加盟館数

本協議会の加盟館数は、第59回総会以降、宮城県農業短期大学図書館及び秋田桂城短期大学図書館が退会したので現在、国立15館、公立12館、私立33館計60館である。

2 平成16年度合同研修会実施状況

期日：平成17年7月22日（金）

会場：国際教養大学 管理棟 4階講堂

基調講演：「24時間オープン図書館の実情と展望」

国際教養大学 図書・情報センター長

勝又 美智雄 氏

事例発表：

1) 「今後の図書館のありかたについて」

秋田経済法科大学附属図書館事務課課長

堀井 正勝 氏

2) 「本学における休日夜間利用について」

秋田県立大学本荘キャンパス図書・情報センター主任

成田 亮子 氏

3) 「図書館活動－図書館同好会とともに」

秋田公立美術工芸短期大学附属図書館産業デザイン学科助教授

金 孝卿 氏

4) 「秋田大学附属図書館の新たな取り組みについて」

秋田大学附属図書館図書情報係長

加賀谷 龍悦 氏

参加者：国・公・私立大学の26館から46名

3 会誌の発行

東北地区大学図書館協議会誌第56号は、平成17年6月に450部発行し、加盟62館及び関係機関等へ発送した。

4 幹事会について

○ 平成16年11月25日（木）

(於：東北大学附属図書館)

(1) 記念事業について

(2) その他

○ 平成17年7月29日（金）

(於：東北大学附属図書館)

(1) 第60回総会議題等について

(2) その他

○ 平成17年9月15日（木）開催

(於：ホテル青森)

(1) 第60回総会・部会運営について

(2) その他

5 永年勤続表彰について

次の者（10名）を表彰該当者として、退職時に所属図書館を介して表彰状及び記念品の贈呈を行った。
元東北大学電気通信研究所総務課図書係長

湯本 智子 氏

元東北大学経済学研究科・経済学部図書室員

山本 衆子 氏

元東北大学附属図書館北青葉山分館整理・運用係長

森脇 ちか 氏

元東北大学附属図書館工学部分館整理・運用係長

相川 晶子 氏

元東北大学附属図書館農学分館図書係長

佐藤 百代 氏

元東北大学附属図書館農学分館図書係員

塚田 弘子 氏

元宮城教育大学附属図書館事務長

柄原 孝夫 氏

元宮城教育大学附属図書館情報サービス係長

武内 佳子 氏

元山形大学附属図書館情報管理課課長補佐

平賀 陽子 氏

元山形大学附属図書館情報サービス課学術情報係長

坂本 芳廣 氏

6 学術奨励賞について

本年度は候補論文の推薦がなかった。

7 記念事業基金の造成について

平成16年度通常会計から記念事業基金として、93,000円を繰り入れた。

8 平成16年度会計監査について

9月1日東北大学附属図書館において、監査館 宮城大学総合情報センター及び仙台白百合女子大学図書館による会計監査を受けた。

一般報告

—国・公・私立大学図書館の動き—

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

○会議等関係

1. 外国雑誌センター館会議について

2. 日本医学図書館協会総会について
3. その他

○研修・講習会等関係

1. 目録システム講習会

[図書コース]

- 期 間：第1回 平成17年5月25日（水）
～5月27日（金）
第2回 平成17年6月22日（水）
～6月24日（金）
第3回 平成17年8月31日（水）
～9月2日（金）
第4回 平成17年10月5日（水）
～10月7日（金）
第5回 平成17年12月14日（水）
～12月16日（金）

[雑誌コース]

- 期 間：第1回 平成17年6月1日（水）
～6月3日（金）
第2回 平成17年7月20日（水）
～7月22日（金）
第3回 平成17年11月9日（水）
～11月11日（金）

場 所：国立情報学研究所

2. 目録システム地域講習会

[図書コース]

- 期 間：平成17年6月15日（水）
～6月17日（金）

場 所：東北大学附属図書館

3. I L Lシステム講習会

- 期 間：第1回 平成17年5月19日（木）
～5月20日（金）
第2回 平成17年7月7日（木）
～7月8日（金）
第3回 平成17年11月21日（月）
～11月22日（火）

場 所：国立情報学研究所

4. 総合目録データベース研修

- 期 間：平成17年10月17日（月）
～10月28日（金）

場 所：国立情報学研究所

5. 学術ポータル担当者研修

- 期 間：平成17年9月26日（月）
～9月28日（水）

場 所：国立情報学研究所

6. 学術情報リテラシー教育担当者研修

- 期 間：平成17年10月31日（月）
～11月2日（水）

場 所：国立情報学研究所

7. 大学図書館職員講習会

- 期 間：平成17年11月15日（火）
～11月18日（金）

場 所：東京大学

8. 情報セキュリティ担当者研修

- 期 間：平成17年7月6日（水）
～7月8日（金）

場 所：外部会場を使用して開催する（東京都内）

9. ネットワークセキュリティ担当者研修

- 期 間：平成17年7月13日（水）
～7月15日（金）

場 所：外部会場を使用して開催する（東京都内）

10. ネットワーク管理担当者研修

- 期 間：第1回 平成17年7月20日（水）
～7月22日（金）
第2回 平成17年11月30日（水）
～12月2日（金）

場 所：外部会場を使用して開催する（東京都内）

11. 平成17年度大学図書館職員長期研修

- 期 間：平成17年7月4日（月）
～7月15日（金）

場 所：独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター

12. 平成17年度漢籍整理長期研修

- 期 間：平成17年6月20日（月）
～9月9日（金）

場 所：東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センターほか

13. 平成17年度漢籍担当職員講習会（初級・中級）

- 期 間：初級 平成17年10月3日（月）
～10月7日（金）
中級 平成17年11月7日（月）
～11月11日（金）

場 所：京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター

14. 第25回西洋社会科学古典資料講習会

- 期 間：平成17年11月8日（火）
～11月11日（金）

場 所：一橋大学佐野書院

15. 第6回「西洋古典資料保存講習会」

- 期 間：平成17年7月11日（月）

- ～7月13日（水）
 場 所：一橋大学附属図書館
 16. 平成17年度図書館等職員著作権実務講習会
 期 間：平成17年10月12日（水）
 ～10月14日（金）
 場 所：① 独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター
 ② 宮城県図書館
 17. 第17回国立大学図書館協議会シンポジウム
 (1) テーマ
 「法人化後の大学改革と大学図書館の在り方について」
 (2) 開催日及び当番館
 ① 東 地 区
 期 間：平成16年12月7日（火）
 ～12月8日（水）
 場 所：東京学芸大学附属図書館
 ② 西 地 区
 期 間：平成16年11月29日（月）
 ～11月30日（火）
 場 所：広島大学中央図書館

国立部会関係 （幹事館：東北大学）

- 国立七大学附属図書館長会議
 （平成16年10月1日名古屋大学）
 協議事項
 1. 法人化後の附属図書館経営について
 2. サブジェクトライブラリアンの育成について
 3. 文部科学大臣等への要望事項について

- 国立七大学附属図書館部課長会議
 （平成16年10月1日 名古屋大学）

- 協議事項
 1. 法人化後の附属図書館経営について
 1) 附属図書館における事務組織の在り方について
 2) 図書館の効率的な運営について
 2. 日本版ドキュメントサプライセンター設置の可能性について
 3. 文部科学大臣等への要望事項について

- 第78次国立七大学附属図書館協議会
 （平成16年10月1日 名古屋大学）

- 協議事項
 1. 文部科学大臣等への要望事項について

2. 各館の年度計画について
 3. 法人化後の附属図書館経営について
 4. 大学における図書館と図書館長の在り方について

○平成16年度国立大学図書館東北地区協議会事務連絡会議
 （平成16年11月26日 岩手大学）

- 協議事項
 1. 国立大学等職員採用試験について
 2. 平成17年度目録システム地域講習会図書コースの開催について
 3. 法人化後における事務組織の再編について
 4. 2005年度外国雑誌見積合わせの状況について
 5. 大学生協が運営する選書・発注システムの活用事例と大学生協で共同出資して運営するCOP(Coop Online Pacific Inc)への洋書発注について

○第36回東北地区国立大学図書館協会総会
 （平成17年4月21日 山形大学）

- 協議事項
 1. 第52回国立大学図書館協会総会に向けての準備事項について
 2. 学習図書館機能の充実について
 3. 学術機関リポジトリ構想への取り組み方について
 4. 各大学における学術雑誌確保の方策等について
 5. 東北地区国立大学図書館におけるメールによる文献複写物の送付について
 6. 次期当番館について

○第52回国立大学図書館協会総会

期　　日　平成17年6月30日

会　　場　名古屋大学豊田講堂

当番地区　東海地区協会

当 番 館　名古屋大学附属図書館

協議事項

1. 理事選出について
 2. 監事選出について
 3. 平成16年度決算報告・同監査報告について
 4. 平成16年度岸本英夫博士記念基金収支決算報告・同監査報告について
 5. 平成17年度事業計画（案）について
 6. 平成17年度予算（案）について
 (1) 平成17年度事業計画（案）
 ① 総務委員会は、継続する。（常置）
 ② 人材委員会は、継続する。（第2年次）

- ③ 国際学術コミュニケーション委員会は、設置要項を変更し、継続する。(第2年次)
 - ④ 学術情報委員会は、継続する。(常置)
 - ⑤ 経営問題委員会は、継続する。(第2年次)
- (2) 国立大学図書館協会シンポジウムの開催について
 テーマ：機関リポジトリ：学術コミュニケーション機能回復の新たな方向を探る
 会 場：東地区 筑波大学附属図書館、西地区 岡山大学附属図書館
- (3) ワークショップ
 ① 今後の図書館経営について
 ② 電子ジャーナルなどのデジタルコンテンツに関する諸課題について
 ③ NACSIS-CAT/ILLの課題解決に向けて

○平成17年度外国雑誌センター館会議

(平成17年5月19日 一橋大学)

協議事項

1. 電子的送信サービスについて
2. NACSIS-CAT/ILL業務分析について
3. 外国雑誌センター館の活動評価について
4. 外国雑誌センター館ホームページの運用について

○第76回NPO法人日本医学図書館協会総会

- 日 程：平成17年5月19日（木）～20日（金）
 会 場：朱鷺メッセ・マリンホール（国際会議室）
 当番地区：北信越地区
 当 番 館：新潟大学附属図書館旭町分館
 館長・司書会議
 メインテーマ「新しいときを求めて」
1. 基調講演
 「大学法人の情報装置：電子図書館への期待」
 新潟大学理事・副学長 板東 武彦
 2. パネルプレゼンテーション
 座 長 新潟大学大学院医歯学総合研究科教授 藤井 雅寛

- ① 「オープンアクセス・オンラインジャーナルの現状と将来」
 新潟大学大学院医歯学総合研究科教授 藤井 雅寛
- ② 「日本の学術研究成果は日本の学術雑誌へ－科学技術情報立国を支えるためのインフラストラクチャーの構築－」
 日本医科大学図書館事務室長 殿崎 正明

③ 「PBL テュートリアル教育から得るもの」

日本歯科大学新潟歯学部附属病院長

関本 恒夫

④ 「薬学から医学図書館に期待すること」

富山医科薬科大学薬学部長

倉石 泰

総 会

1. 平成16年度事業報告
2. 平成16年度決算報告
3. 平成17年度事業計画（案）
4. 平成17年度予算（案）
5. NPO法人日本医学図書館協会規程について（報告）
6. 分科会
 - ① 電子ジャーナルと冊子体の今後の展望
 - ② 患者・市民の求める医療情報

公立部会関係

（幹事館 秋田県立大学）

1. 平成17年度公立短期大学図書館協議会総会
 期 日 平成17年8月3日（水）
 会 場 東京第一ホテル米沢〔2F山桜〕
 米沢市中央一丁目13-3
 当 番 館 山形県立米沢女子短期大学附属図書館
 議 事

【報告事項】

- 1 役員紹介
- 2 平成16年度事業報告及び関連事業報告
- 3 平成16年度決算報告及び監査報告
- 4 平成17年度地区協議会活動報告

【協議事項】

- 1 平成17年度事業計画〔案〕及び予算〔案〕について
- 2 平成18年度役員館〔案〕について
- 3 提案議題

【そ の 他】

- 1 次期当番館 千葉県立衛生短期大学
- 2 平成17年度公立短期大学図書館協議会職員研修会
 期 日 平成17年8月4日〔木〕～8月5日〔金〕
 会 場 東京第一ホテル米沢〔2F山桜〕 米沢市中央一丁目13-3

当 番 館 山形県立米沢女子短期大学附属図書館

内 容

1. 講 演
 「大学図書館の図書館協力活動について」
 講師 国立大学法人山形大学

- 附属図書館 情報管理課長
加藤 信哉 氏
2. 講 演
「図書館協力による“ヒト”と“モノ”の拡充」
講師 山形県立米沢女子短期大学
廣田 慈子 氏
3. 全体討議
テーマ「図書館間協力・連携」
事例討議
3. 第37回（平成17年度）公立大学協会図書館協議会事務長会・役員会・総会
期 日 平成17年5月26日（木）
～5月27日（金）
会 場 山口県下関市 海峡メッセ下関
開 催 館 下関市立大学
- <事務長会>
報 告
公立大学における電子ジャーナルコンソーシアムの構築
事例発表
大学統合による独立行政法人化と図書館
- <第1回（拡大）役員会>
- 報告事項・確認事項
1 平成16年度事業報告
2 平成16年度決算報告及び監査報告
3 相互協力委員会報告
4 H P委員会活動報告
5 事務長会報告
6 その他
- 協議事項
1 平成17年度事業計画（案）について
2 平成17年度予算（案）について
3 公立大学協会図書館協議会表彰規定による表彰について
4 公立大学協会図書館協議会研修会について
5 筑波大学主催大学図書館職員長期研修受講者の推薦について
6 平成17年度相互協力委員会について
7 平成17年度H P委員会について
8 役員の選出について
9 関係委員会委員等の推薦について
10 「内規施行申合せ事項」の改正について
11 「総会申合せ事項」の改正及び追加について
12 「公立大学図書館相互利用実施要項」の廃止について
- （共通閲覧証の廃止）
13 役員活動費の新設について
14 国公私立大学図書館協力委員会への分担金について
15 その他
- <総 会>
文部科学省行政報告
講師 文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室
大学図書館係長
及川 善博 氏
基調講演
演題 「地方の時代再考」
講師 山口県立大学 学長
岩田 啓靖 氏
- 報告事項
1 平成16年度事業報告
2 平成16年度決算報告及び監査報告
3 相互協力委員会報告
4 H P委員会報告
5 事務長会報告
6 その他
- 協議事項
1 平成17年度事業計画（案）について
2 平成17年度予算（案）について
3 公立大学協会図書館協議会表彰規程による表彰について
4 公立大学協会図書館協議会研修会について
5 筑波大学主催大学図書館職員長期研修会参加者の推薦について
6 平成17年度相互協力委員会について
7 平成17年度H P委員会について
8 役員の選出について
9 関係委員会委員等の推薦について
10 「内規施行申合せ事項」の改正について
11 「総会申合せ事項」の改正及び追加について
12 「公立大学図書館相互利用実施要項」の廃止について
（共通閲覧証の廃止）
13 役員活動費の新設について
14 国公私立大学図書館協力委員会への分担金について
15 その他
4. 平成17年度公立大学協会図書館協議会研修会
期 日 平成17年8月18日（木）～8月19日（金）

- 会 場 県立長崎シーボルト大学
開 催 館 県立長崎シーボルト大学
研修内容
- 1 講演
 「図書館改革－大学図書館の組織・運営体制の強化－」
 講師 国立大学法人九州大学 理事（副学長）
 有川 節夫 氏
 - 2 講演
 「地域貢献への取り組み－こどもたちを対象にスタンプラリーで情報調べー」
 講師 国立大学法人鹿児島大学 附属図書館
館 長
 早川 勝光 氏
 - 3 講演
 「米国の大学図書館における学習・教育活動支援－アラーム・カレッジとミシガン大学の事例をもとにー」
 講師 国立大学法人長崎大学 大学教育機能開発
センター 助 手
 長澤 多代 氏
 5. 平成17年度公立大学協会図書館協議会東部地区会議
 期 日 平成17年8月19日（金）
 会 場 公立はこだて未来大学
 当 番 館 公立はこだて未来大学
 議 事
 【協議事項】
 なし
 【承合事項】
 1 学生への利用講習の効果的なやり方について
 2 特色ある蔵書構成およびその収集方針について
 3 学外者の図書館利用に関する適用範囲について

私立部会関係

（幹事館：いわき明星大学・宮城学院女子大学）

- 私立大学図書館協会の活動（東地区部会を主として）
- I. 加盟校（2004年度承認）：477校（東地区校237校、西地区校240校）
 - *東北地区的加盟校
 秋田経済法科、石巻専修、いわき明星、奥羽、郡山女子、尚絅学院、仙台白百合女子、東北学院、東北芸術工科、東北工業、東北女子、東北福祉、東北文化学園、

東北薬科、日本（工）、八戸、八戸工業、東日本国際・いわき、富士、宮城学院女子、盛岡（以上21校）

- 2004年度東地区部会総会
 日 程：2004年6月18日（金） 10:00～12:00
 会 場：日本女子大学 西生田キャンパス
 議 事：2003年度東地区部会活動報告および2004年度事業計画、予算決定等
- 2004年度東地区部会 館長会
 日 程：2004年6月18日（金） 12:00～13:30
 会 場：日本女子大学 西生田キャンパス
 議 題：大学図書館サービスと業務委託
- 2004年度東地区部会 研究講演会
 日 程：2004年6月18日（金） 13:45～16:45
 会 場：日本女子大学 西生田キャンパス
 講 演：
 「大学図書館経営の見直しと新たなリソース管理」
 慶應義塾大学文学部教授
 高山 正也 氏
 事例発表：
 「私立大学図書館の経営戦略」
 慶應義塾大学三田メディアセンター事務長
 加藤 好郎 氏
- 2004年度第1回研修会
 テーマ：図書館の今
 日 程：2004年9月21日（火）
 場 所：大正大学 1号館2階 大会議室
 基調講演：
 「図書館協力の現状および課題」
 千葉大学 教授
 土屋 俊 氏
 講 演：
 「私立大学図書館コンソーシアム（PULC）について」
 早稲田大学図書館 総務課長
 中元 誠 氏
 講 演：
 「地域型図書館コンソーシアムの問題点と展望：多摩アカデミック・コンソーシアムな現場から」
 国際基督教大学図書館 パブリック・サービス・グループ
 山本 裕之 氏

講 演：

「国立情報学研究所における国際的な図書館協力の方針」
国立情報学研究所 開発・事業部コンテンツ課課長

大場 高志 氏

○2004年度私立大学図書館協会第65回総会・研究会

日 程：2004年9月17日（金）～18日（土）
場 所：青山学院大学
メインテーマ：「大学図書館と新たなる情報化」
総 会：2003年度一般会計決算報告・特別会計決算報告、2004年度事業計画、2004年度一般会計予算・特別会計予算、新規加盟等
記念講演：大学図書館と著作権

青山学院大学常務理事

半田 正夫 氏

研究大会

報 告 (1) 2003年度海外集合研修

西南学院大学図書館

古庄 敬文 氏

(2) 2003年度海外派遣研修

成城大学図書館

鷲尾 道代 氏

講 演 (1) デジタル化と図書館

青山学院大学理工学部教授

辻 政重 氏

(2) 忘れられた「空前の大ベストセラー」

の復権

－初期印刷時祷書（1485～1535年）とその美術史的意義

青山学院大学文学部教授

高橋 達史 氏

(3) 江戸戯作本の蒐書について

青山学院大学学長・文学部教授

武藤 元昭 氏

○2004年度海外集合研修の参加募集

日 程：2004年10月24日（日）～10月31日（日）
研修予定機関：イリノイ大学モーテンソン・センター
研修テーマ：アメリカの大学図書館の現状を知る

○2004年度 研究会（交流会）

日 時：2004年11月12日（金）15：00～19：00
場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎1F
基調報告：「研修会」、「研究分科会」の現在から未

来へ

—より広く、より深く、より永く学び続けるために—
前研修委員会委員長

佐藤 善治 氏（中央大学図書館）

活動報告：「分類研究分科会」創立50周年記念報告
藤倉恵一 文教大学図書館

鈴木 学 氏（日本女子大学図書館）

2004～2005年度新規立上「L-ランニング
学習支援システム研究分科」報告
池田 剛透 氏（多摩大学メディア&イン

フォメーション・センター図書館）

○国際図書館協力基金による私立大学図書館協会加盟図書館2004年度第2回寄贈資料搬送事業実施

申請書提出期限：2004年11月30日（火）

○私立大学図書館コンソーシアム（PULC）による電子ジャーナル出版社との交渉結果について（版元説明会開催のお知らせ）

関東地区

日 時：11月11日（木）9：00～15：00

場 所：早稲田大学総合学術センター国際会議場

○2005年度海外派遣研修の参加募集

目 的：1. 国際図書館協力委員会の事業の一つである国際的な人的交流を実現するため
2. 米国図書館員の専門職制を学ぶため

募集人数：1名

研修場所：イリノイ大学モーテンソンセンター

東北地区大学図書館協議会第60回記念事業

「図書館すすめ」の作成実施報告

1. 実施の経緯等

平成16年9月16日山形大学を当番館として開催された第59回総会において記念事業を行うことが承認され、詳細については、幹事会に一任することとした。

平成16年11月25日開催の幹事会において国立部会提案の事項が採択された。

これを受け、常任幹事館（東北大）から各加盟館に記念事業の実施について照会・確認を行った。

加盟館からの承認を受けて、60回記念事業実施のための編集委員会を設置し、図書館利用促進に関する小冊子の作成に着手した。委員の選出は、各加盟館からの推薦に基づき決定した。

編集委員は、以下のとおりである。

[編集執筆委員] 8名 *印は監修

佐藤 亜紀（山形大学）

尾田 陽子、菅原透*、永井伸、米澤誠*（東北大）

西戸 雅博（福島県立医科大学）

小山 純（東北学院大学）

大島 真理（東北福祉大学）

[編集協力委員] 6名

竹谷 隆則（岩手大学）

河野 忠市（福島大学）

三浦たみ子（秋田県立大学）

鈴木 明子（宮城学院女子大学）

菊地めぐみ（石巻専修大学）

玉手 匡子（いわき明星大学）

2. 編集経過

月 日	委員会の開催	編 集 作 業 内 容
1月 14日	編集委員会 ①	全委員による内容構成のブレーンストーミング 執筆分担の決定
		第1稿の作成 編集協力委員からの意見聴取 ①
2月 17日	編集執筆委員会 ①	第1稿の内容検討
		第2稿、第3稿の作成 編集協力委員からの意見聴取 ②
3月 3日	編集執筆委員会 ②	第3稿の内容検討・校正
3月 9日		見本誌（第3稿）を加盟館に配信
3月 16日	編集執筆委員会 ③	第3稿の校正、原稿修正作業（研修室PCにて）
		第4稿、第5稿（統一レイアウト版）の作成
		第6稿（表紙・裏表紙付き版）の作成【監修担当】
4月 20日		加盟館へ原稿を提示・加盟館からの意見聴取
5月 10日	編集執筆委員会 ④	第6稿の校正、今後の課題についての検討
		第7稿、第8稿（最終稿）の作成【監修担当】
5月 27日		印刷業者との打ち合わせ、原稿引渡し
		印刷校正（3稿まで）【監修担当】
7月 1日		『図書館のすすめ』初版の刊行
7月 8日		『図書館のすすめ』順次各加盟館への送付

[平成17年度事業計画(案)]

- | | |
|--|---|
| 1 第60回総会の開催
平成17年9月15日（木）青森大学・青森短期大学を
当番館に実施 | 5 会誌の発行
平成18年5月の予定 |
| 2 永年勤続の表彰 | 6 記念事業基金の造成
平成17年度通常会計から記念事業基金（90,000円）
を繰り入れ予定 |
| 3 学術奨励賞の表彰 | |
| 4 研修会の開催（国・公・私立大学合同）
開催当番 山形地区の予定 | |

協議題（総会）

4. 第61回総会の当番地区（館）について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

1) 宮城地区（宮城大学）が当番となっているが、確認願いたい。

東北地区大学図書館協議会総会当番地区（館）予定
(平成15年9月18日承認)

回	年度	当番地区	会 場 大 学	備 考
55	12	宮 城	宮 城 教 育 大 学	
56	13	福 島	奥 羽 大 学	
57	14	秋 田	秋 田 県 立 大 学	
58	15	宮 城	東 北 福 祉 大 学	
59	16	山 形	山 形 大 学	
60	17	青 森	青 森 大 学・青 森 短 期 大 学	
61	18	宮 城	宮 城 大 学	
62	19	岩 手		
63	20	福 島		
64	21	宮 城		

注：会場大学については、当該県において協議のうえ開催予定の前年度総会に報告するものとする。

3) 開催地区のローテーションの確認について

- ① 宮城地区は、他地区より大学の数も多いので3年に1回割り振る。
- ② その他の地区は、次のローテーションによる。
青森地区、岩手地区、福島地区、秋田地区、山形地区

5. 平成17年度の合同研修会について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

山形地区が当番となっているので、確認願いたい。

東北地区大学図書館協議会合同研修会開催地区

(平成8年9月18日承認)

年度	当番地区	会 場 大 学	備 考
7	宮 城	東 北 大 学	
8	青 森	弘 前 大 学	
9	岩 手	岩 手 大 学	
10	秋 田	秋 田 大 学	
11	山 形	山 形 大 学	
12	福 島	福 島 大 学	

平成13年度以降の合同研修会当番予定地区

(平成12年9月20日承認)

年度	当番地区	会 場 大 学	備 考
13	宮 城	東 北 大 学	
14	青 森	弘 前 大 学	
15	岩 手	岩 手 大 学	
16	秋 田	国 際 教 養 大 学	
17	山 形		
18	福 島		

注：会場大学については、当該県において協議するものとする。

6. 「図書館のすすめ」を他機関等へ配付することについて

(東北大学附属図書館)

(提案理由)

東北地区大学図書館協議会総会第60回の記念事業として「図書館のすすめ」を刊行し、各加盟館に配付したところであるが、これを機に本地区の活動状況を内外にアピールするため他機関等へ配付することとしたい。

7. 東北大学附属図書館のHPに東北地区大学図書館協議会のウェイブサイトを開設することについて

(東北大学附属図書館)

(提案理由)

東北地区大学図書館協議会の活動状況についての詳細は、現在年1回発行の協議会誌のみである。

このような状況に鑑み、情報化時代に即したものとするため東北大学附属図書館のHPに東北地区大学図書館協議会のウェイブサイトを開設し、加盟館により多くの情報を提供することにより同協議会の活動状況等を周知・理解していただくことが可能となる。

また、ウェイブサイトに「図書館のすすめ」を掲載することにより、当該大学に即した内容にバージョンアップすることも可能となる。

8. フレッシュ・パーソンセミナーの開催について

(東北大学附属図書館)

(提案理由)

東北地区大学図書館協議会加盟館に所属する採用2年未満程度の職員に対し、図書館職員として基本的な知識を修得させるとともに地区内の職員との交流の機会を設け、人的ネットワークの形成を促進することを図りたい。

9. 学術奨励賞について

(東北大学附属図書館)

(提案理由)

学術奨励賞の規程が制定されてから、40年を経過しているが、この間この規程に基づいて表彰されたケースは、平成元年度の2件のみである。

その後も毎年、常任幹事館から、加盟館に応募について照会しているが、1件も推薦されていない。

このような状況に鑑み、応募しやすいように規定第2条の条文について検討を行いたい。

10. 加盟館職員名簿の掲載について

(石巻専修大学附属図書館)

(提案理由)

平成17年4月から個人情報保護法が施行されたことに伴い、現行の加盟館職員名簿の掲載の方法について検討を行いたい。

11. 役員館の改選について

(東北大学附属図書館)

(提案理由)

常任幹事館、幹事館、会計監査館及び論文審査館の任期満了に伴い、東北地区大学図書館協議会会則第6条及び第7条並びに東北地区大学図書館協議会学術奨励規程第3条第2項の規定に基づき各役員館の改選を、お願いしたい。

- 【① 幹事館は、国立2館、公立1館、私立2館の 計5館で、そのうち1館が常任幹事館となる。
② 会計監査館は、公立1館、私立1館で、常任幹事館が決定した後、その館に距離的に近い大学を推薦願いたい。
③ 学術奨励論文審査館は、国・公・私2館ずつ 計6館】

12. その他

i 加盟館の退会について

宮城県農業短期大学附属図書館及び秋田桂城短期大学附属図書館から、平成17年3月31日付で退会したい旨の届出があり、幹事会で了承しているので、追認願いたい。

ii 合同研修会の在り方について

平成16年11月25日記念事業について幹事会を開催したところ、公立部会から、記念事業として、合同研修会の在り方について提言があったので、公立部会で検討を行い、総会に報告していただきたい。

iii 東北地区大学図書館協議会略年譜の作成について
平成16年11月25日記念事業について幹事会を開催したところ、私立部会から、記念事業として、東北地区大学図書館協議会略年譜の作成について提言があったので、私立部会で検討を行い、総会に報告していただきたい。

永年勤続表彰

元東北大学電気通信研究所総務課図書係長

湯本 智子 氏

元東北大学経済学研究科・経済学部図書室員

山本 衆子 氏

元東北大学附属図書館北青葉山分館整理・運用係長

森脇 ちか 氏

元東北大学附属図書館工学部分館整理・運用係長

相川 晶子 氏

元東北大学附属図書館農学分館図書係長

佐藤 百代 氏

元東北大学附属図書館農学分館図書係員

塙田 弘子 氏

元宮城教育大学附属図書館事務長

柄原 孝夫 氏

元宮城教育大学附属図書館情報サービス係長

武内 佳子 氏

元山形大学附属図書館情報管理課課長補佐

平賀 陽子 氏

元山形大学附属図書館情報サービス課学術情報係長

坂本 芳廣 氏

承合事項

(宮城大学総合情報センター)

案 件	データベース、及び電子ジャーナルの利用方法について
提案理由	本学図書館でのデータベースの利用は、一部を除き図書館内での利用に限定している。利用の際の認証方法はIP、及びID／パスワード認証を組み合わせ、どちらか一方の場合はID／パスワード認証で利用している。しかし、その都度職員が対応するため、利用の都度手間がかかっている状況にある。 現在、一部無料の電子ジャーナル等を利用する方向で準備しているところもあり、利用方法(図書館内での利用、HPからの利用、研究室からの利用等)や認証方法について、ご教示願いたい。

承合事項

回答大学名 _____

該当する箇所の四角(□)を、黒(■)に変えてください。

データベース及び電子ジャーナルの利用について (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 直接利用者に利用させている <input type="checkbox"/> 代行検索を行っている <input type="checkbox"/> 利用していない <input type="checkbox"/> その他 ()
利用場所について (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 図書館内 (<input type="checkbox"/> 図書館内のみ <input type="checkbox"/> 図書館以外も可) <input type="checkbox"/> 図書館以外 (<input type="checkbox"/> 研究室内 <input type="checkbox"/> キャンパス内 <input type="checkbox"/> 大学内) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 特に制限はない <input type="checkbox"/> その他 ()
図書館内で利用する場合の認証方式(複数回答可)	①認証方式 <input type="checkbox"/> ID/パスワード認証(<input type="checkbox"/> 図書館員が入力 <input type="checkbox"/> 利用者が入力) <input type="checkbox"/> IP認証 <input type="checkbox"/> 端末固定 <input type="checkbox"/> その他 () ②利用の際、図書館カウンターへの申し込みは <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> その他 ()
図書館以外で利用する場合の利用方法、及び認証方式(複数回答可)	①利用方法 <input type="checkbox"/> 図書館HPから <input type="checkbox"/> その他 () ②認証方式 <input type="checkbox"/> ID／パスワード認証 <input type="checkbox"/> IP認証 <input type="checkbox"/> その他 ()
現在の利用方法、及び認証方式にした理由	
現在の利用方法及び認証方式で生じる問題点	問題点は(<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない)具体的に

協議題（国立・公立・私立部会）

1. 「図書館のすすめ」を他機関等へ配付することについて

(東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席上で提案説明)

2. 東北大学附属図書館のHPに東北地区大学図書館協議会のウェブサイトを開設することについて

(東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席上で提案説明)

3. フレッシュ・パーソンセミナーの開催について

(東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席上で提案説明)

4. 学術奨励賞について

(東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席上で提案説明)

5. 加盟館職員名簿の掲載について

(石巻専修大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席上で提案説明)

6. 役員館の改選について

(東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席上で提案説明)

承合事項（国立・公立・私立部会）

宮城大学総合情報センター

【別添付資料】

案件	データベース、及び電子ジャーナルの利用方法について
提案理由	本学図書館でのデータベースの利用は、一部を除き図書館内での利用に限定している。利用の際の認証方法はIP、及びID／パスワード認証を組み合わせ、どちらか一方の場合にはID／パスワード認証で利用している。しかし、その都度職員が対応するため、利用の都度手間がかかっている状況にある。 現在、一部無料の電子ジャーナル等を利用する方向で準備しているところでもあり、利用方法(図書館内での利用、HPからの利用、研究室からの利用等)や認証方法について、ご教示願いたい。

承合事項

回答大学名

該当する箇所の四角（□）を、黒（■）に変えてください。

データベース及び 電子ジャーナルの 利用について (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 直接利用者に利用させている <input type="checkbox"/> 代行検索を行っている <input type="checkbox"/> 利用していない <input type="checkbox"/> その他（ ）
---	--

利用場所について (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 図書館内（ <input type="checkbox"/> 図書館内のみ <input type="checkbox"/> 図書館以外も可 ） <input type="checkbox"/> 図書館以外（ <input type="checkbox"/> 研究室内 <input type="checkbox"/> キャンパス内 <input type="checkbox"/> 大学内 ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
図書館内で利用する場合の認証方式(複数回答可)	①認証方式 <input type="checkbox"/> ID/パスワード認証(<input type="checkbox"/> 図書館員が入力 <input type="checkbox"/> 利用者が入力) <input type="checkbox"/> IP認証 <input type="checkbox"/> 端末固定 <input type="checkbox"/> その他（ ）
図書館以外で利用する場合の利用方法、及び認証方式(複数回答可)	②利用の際、図書館カウンターへの申し込みは <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> その他（ ）
現在の利用方法、及び認証方式にした理由	①利用方法 <input type="checkbox"/> 図書館HPから <input type="checkbox"/> その他（ ）
現在の利用方法及び認証方式で生じる問題点	②認証方式 <input type="checkbox"/> ID／パスワード認証 <input type="checkbox"/> IP認証 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	問題点は（ <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない ） 具体的に

協議題（国立部会）

(山形大学附属図書館)

1. 東北地区国立大学図書館におけるメールによる文献複写物の送付について

(提案理由)

平成17年4月21日に開催された平成17年度東北地区国立大学図書館協会総会の協議事項として「東北地区国立大学図書館におけるメールによる文献複写物の送付について」を山形大学から提案し、その実施が了承された。

6月から東北大学と山形大学で複合機による文献複写物の送付についてのテストを行い、技術面及び運用面で特に問題がないことを確認した。

7月にはアンケートを行い、複合機の設置状況等について調査した。

これらの結果に基づき、平成18年度の実施に向けた具体的なスケジュール等について協議したい。

承合事項（国立部会）

(秋田大学附属図書館)

【別添付資料参照】

1. 図書館における学生サービスの取組状況について

(提案理由)

- ① 情報リテラシー教育について

本館では従来、教養基礎科目の情報リテラシー

教育の授業について、学生サービスの一環として補助的立場で担当していましたが、平成17年度からは附属図書館が担当する授業として実施しています。

その主な内容は次のとおりです。

◎学術情報全般についての概論

◎秋田大学所蔵の図書・雑誌の検索方法 (OPACの使い方)

◎データベースによる雑誌論文の検索方法 (雑誌記事索引・医学中央雑誌の使い方)

◎全国大学図書館で所蔵する資料の検索方法 (WebCAT・NDL-OPACの使い方)

◎インターネットの活用方法(オンラインジャーナルの使い方、学術雑誌の検索方法)

◎レポート・論文のまとめ方

今後の授業内容の充実を図るにあたり、各大学において、図書館が情報リテラシー教育の授業に対してどのように取り組まれているかご教示願います。

② 学生用図書購入費について

国立大学が平成16年度法人化され、図書館の通常経費も毎年1%の節約（効率化）を求められており年々減少することが懸念されます。

この状況の中で、本館では学生用図書購入費の増額を志向し、それが無理な場合でも現状を維持していく方針でありますが、対応に苦慮しております。

今後の予算措置の参考とさせていただきたく、各大学の状況をご教示願います。

協議題（公立部会）

(秋田県立大学図書・情報センター)

1. 合同研修会の在り方について

(提案理由)

幹事会で記念事業について、公立部会から提案のあった「合同研修会の在り方について」を部会で協議するものである。

承合事項（公立部会）

(会津大学情報センター附属図書館)

【別添付資料参照】

1. 研究費購入の図書について

(提案理由)

本学は平成18年度から地方独立行政法人へ移行する予定である。

今後の会計基準となる「地方独立行政法人会計基準」においては、図書は有形固定資産として、備品など他の固定資産とは別の勘定科目で管理することとされています。

また、これは研究費で購入する図書についても図書館購入の図書と同様金額の大小に関わらず「図書」勘定に計上することとなるとも聞いている。

そこで、研究費で購入する図書についてどのように対応される予定かお伺いしたい。

【別添付資料参照】

(会津大学情報センター附属図書館)

2. 地方独立行政法人化後の蔵書管理について

(提案理由)

本学は平成18年度から地方独立行政法人へ移行する予定である。

図書館においても固定資産（図書）の維持・管理は以前にも増して重要な責務になるとを考えられる。

より高い精度で数量管理を行う必要があると思われるが、蔵書点検はどのような方法で行うことを予定されているか、またその頻度についてもご教示願いたい。

協議題（私立部会）

(宮城学院女子大学)

(いわき明星大学)

1. 東北地区大学図書館協議会略年譜の作成について

(提案理由)

幹事会で記念事業について、私立部会から提案のあった「東北地区大学図書館協議会略年譜の作成について」を部会で協議するものである。

(八戸大学・八戸短期大学図書館)

2. 個人情報保護法施行に伴う大学図書館の対応について

(提案理由)

個人情報保護関連五法が平成17年4月1日より全面的に施行されたことになりました。

このことにより、一部の図書館では名簿等の資料を開架書架から撤去したり閲覧禁止措置をとったりしているところもあるようです。

また、図書館で扱う利用者の個人情報の取り扱いに関する規程等の整備も必要となってくると思われます。

そこで、現在各大学図書館では、個人情報保護に関する図書館（学内）規程の有無や、取扱いについてのガイドライン作成の動向、ルーチンワークにおける対応の変

更（未返却図書の督促方法や、利用者登録における学生情報の取扱い等）について、どのような対応を行っているか情報をご提供戴きたい。

また、今後改善する方向で検討している点等についても各大学図書館からご意見や問題点をお伺いしたい。

永年勤続被表彰者紹介

1. 氏名 湯本智子氏

(昭和19年10月15日生)

元東北大学電気通信研究所総務課図書係長

●推薦理由

湯本智子氏は、昭和42年4月、東北大学工学部に採用されて以来、平成17年3月末の定年による退職まで、38年有余の永きにわたり、東北大学工学分館、農学分館、本館、電気通信研究所に勤務されました。

この間、目録業務や閲覧業務等様々な図書業務に従事し、その貢献は多大なものがあります。特に本館参考調査係においては、教員や学生に対するレファレンス・サービスにその手腕を遺憾なく発揮されました。

また、平成5年本館情報サービス課閲覧第二掛長に昇任後、仙台市との共同事業・漱石文庫のマイクロフィルム化版目録作成を行い、平成9年4月農学分館図書掛長時には、長年の懸案だった夜間閲覧を実現させ、平成12年4月本館情報管理課雑誌情報掛長時には、学術情報専門委員会を立ち上げ、外国雑誌の重複調整作業に携わる一方、後輩の指導育成にも努められました。

平成14年4月からは、電気通信研究所図書掛長として、同研究所図書室の管理・運営にご尽力されました。

このような永年のご苦労とご功績に対しまして、感謝の意を表するため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当するものとして表彰していくだきたく、推薦いたします。

●略歴

昭和42年4月	東北大学工学部中央図書室
昭和49年12月	" 応用化学科図書室
昭和53年4月	" 附属図書館工学分館
昭和62年5月	" 農学分館
平成3年5月	" 附属図書館情報サービス課 参考調査掛
平成5年4月	" 閲覧第二掛長
平成9年4月	" 農学分館図書掛 長
平成12年4月	" 情報管理課雑誌 情報掛長
平成14年4月	" 電気通信研究所総務課図書

掛長

平成17年3月 定年退職

2. 氏名 山本衆子氏

(昭和19年12月29日生)

元東北大学経済学研究科・経済学部図書室員

●推薦理由

山本衆子氏は、昭和42年11月、東北大学工学部に採用されて依頼、平成17年3月末の定年により退職するまで、37年有余の永きにわたり、東北大学工学部、東北大学工学分館、東北大学電気通信研究所、東北大学経済学研究科・経済学部に勤務されました。

この間目録業務や閲覧業務等様々な図書業務に21年余従事し、その貢献は多大なものがあります。特に工学分館においては、目録・閲覧・参考業務に従事しました。また電気通信研究所においては、豊富な知識と経験を生かし、世界の最先端をいく同研究所の教員、学生に対するレファレンス業務に誠心誠意当たられました。

平成13年4月からは、経済学研究科・経済学部図書室主事として、予算管理、図書業務全般にわたる運営・企画・管理等の業務に従事し、同学部図書室の管理・運営に大変ご尽力されました。

このようなご苦労と功績に対しまして、感謝の意を表するため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当するものとして表彰していただきたく、推薦いたします。

●略歴

昭和42年11月	東北大学工学部
昭和58年12月	" 機械第二学科図書室
平成7年4月	" 附属図書館工学分館
平成10年4月	" 電気通信研究所図書係
平成13年4月	" 経済学研究科・経済学部図書室主事

平成17年3月 定年退職

3. 氏名 森脇ちか氏

(昭和19年8月30日生)

元東北大学附属図書館北青葉山分館整理・運用係長

●推薦理由

森脇ちか氏は、昭和42年4月東北大学附属図書館閲覧課に採用されて以来、平成17年3月末に退職するまで38年の永きにわたり、農学分館、医学分館、金属材料研究所、工学分館、北青葉山分館に勤務されました。

この間、本館においては、雑誌及び目録業務、農学分館においては、図書館業務全般、医学分館及び金属材料研究所においては、受入・目録業務を担当され、

その豊富な経験と知識を生かし、後輩の指導と教員や学生への奉仕に誠心誠意あたられ、研究・学習の支援に多大な貢献をされました。

また、平成12年4月工学分館整理・運用掛長に昇任以後は係長としての手腕を遺憾なく発揮されました。

このようなご苦労と功績に対しまして感謝の意を表するため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当するものとして表彰していただきたく推薦いたします。

●略歴

昭和42年4月 東北大学附属図書館閲覧課事務補佐員
昭和51年6月 " 事務員
昭和57年4月 " 農学分館
昭和63年5月 " 附属図書館情報管理課
平成6年4月 " 医学分館
平成10年4月 " 金属材料研究所総務課図書掛
平成12年4月 " 附属図書館工学分館整理・運用掛長
平成15年4月 " 北青葉山分館・整理・運用掛長
平成17年3月 定年退職

4. 氏名 相川晶子氏

(昭和20年2月24日生)

元東北大学附属図書館工学分館整理・運用係長

●推薦理由

相川晶子氏は、昭和41年2月に東北大学附属図書館整理課に採用されて以来、平成17年3月末の定年による退職まで、39年の永きにわたり、医学分館、北青葉山分館、農学分館及び工学分館に勤務されました。

この間、受入業務、目録業務、閲覧業務、文献複写業務など様々な図書館業務に従事されました。平成6年3月までは本館において実務の中心者として各係長を助けて活躍され、特に平成元年から開始した学内図書館間の文献複写システム(FAX)による図書館(室)間の相互利用サービス業務に積極的に尽力されました。平成9年4月、北青葉山分館整理・運用係長に昇任以降は、豊富な経験と知識を活かし、後輩の指導と教員や学生に対する図書館サービスにおいて、その手腕を遺憾なく発揮されております。農学分館においては分館の管理・運営全般にわたって精励されました。

また、工学分館では、大規模な施設の改修を伴う入退館管理システム更新に際して、平日の夜間、土・日曜日及び祝日の無人開館サービスの安全と利用拡大のための

体制づくりに努力されました。

このようなご苦労と功績に対しまして感謝の意を表するため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当する者として表彰していただきたく、推薦いたします。

●略歴

昭和41年2月 東北大学附属図書館整理課
昭和49年10月 " 閲覧課
昭和58年4月 " 整理課
昭和63年5月 " 情報サービス課
平成6年4月 " 医学分館
平成9年4月 " 北青葉山分館整理・運用掛長
平成12年4月 " 農学分館図書掛長
平成15年4月 " 工学分館整理・運用掛長
平成17年3月 定年退職

5. 氏名 佐藤百代氏

(昭和19年7月26日生)

元東北大学附属図書館農学分館図書係長

●推薦理由

佐藤百代氏は、昭和42年10月宮城教育大学附属図書館に採用されて以来、平成17年3月末の定年による退職まで37年有余の永きにわたり、東北大学金属材料研究所、附属図書館情報サービス課、農学分館に勤務されました。

この間、目録業務や閲覧業務等様々な図書業務に従事し、その貢献は多大なものがあります。

特に平成11年4月宮城教育大学附属図書館運用係長昇任後及び同整理係長時には、図書館システムのリプレイス業務、迦及入力の責任者としてまた、図書館利用者への教育等係長としての手腕を遺憾なく発揮されました。

平成15年4月からは、農学分館図書掛長として、同分館の管理・運営にご尽力されるとともに後輩の指導育成にも努められました。

このような永年のご苦労とご功績に対しまして感謝の意を表するため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当するものとして表彰していただきたく、推薦いたします。

●略歴

昭和42年10月 宮城教育大学附属図書館司書係
昭和51年4月 " 学生部
昭和53年4月 " 附属図書館管理係

昭和55年4月 " 整理係
 平成7年4月 東北大学金属材料研究所総務課図書掛
 平成10年4月 " 附属図書館情報サービス課
 閲覧第一掛
 平成11年4月 宮城教育大学附属図書館運用係長
 平成13年4月 " 整理係長
 平成15年4月 東北大学附属図書館農学分館図書掛
 長
 平成17年3月 定年退職

6. 氏名 塚田弘子氏
 (昭和19年6月13日生)

元東北大学附属図書館農学分館図書係員

●推薦理由

塚田弘子氏は、昭和42年5月東北大学附属図書館に採用されて以来、平成17年3月末の定年による退職まで38年有余の永きにわたり本館整理課、総務課、情報サービス課、工学分館、医学分館、農学分館に勤務されました。

この間、目録業務や閲覧業務など様々な図書業務に従事し、昭和47年の本館の新築移転や平成7年の工学分館増築と並行して、各学科に分散していた図書・雑誌を集中化し、学科図書室が廃止されたことに伴う重複雑誌等の整理等、その貢献は多大なものがあります。

また、図書館業務に関する豊富な知識と経験に基づいて、教員・学生等の利用者はもちろん同僚・後輩の良き相談相手となっていました。

平成15年4月からは、農学分館図書係勤務となり、同分館の運営にご尽力されました。

このような永年のご苦労とご功績に対しまして感謝の意を表するため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当するものとして表彰していただきたいと、推薦いたします。

●略歴

昭和42年5月 東北大学附属図書館整理課和漢書目録掛
 昭和49年4月 " 受入掛
 昭和58年4月 " 総務課企画・涉外掛
 昭和62年4月 " 整理課逐次刊行物掛
 平成2年4月 " 情報サービス課
 閲覧第二掛
 平成4年4月 " 工学分館整理・運用掛

平成8年4月 " 農学分館図書掛
 平成11年4月 " 医学分館運用掛
 平成15年4月 " 農学分館図書掛
 平成17年3月 定年退職

7. 氏名 栄原孝夫氏

(昭和19年11月18日生)

元宮城教育大学附属図書館事務長

●推薦理由

栄原孝夫氏は、昭和38年東北大学附属図書館川内分校分館に採用されて以来、教養部分館、附属図書館整理課、閲覧課、整理課と勤務を経て、工学分館整理・運用掛長、管理掛長、及び附属図書館整理課受入係長、医学分館整理掛長、山形大学附属図書館情報管理課図書館専門員を歴任された後、平成11年東北大学附属図書館医学分館事務長として就任され、平成14年宮城教育大学に配置換えとなり、平成17年3月末をもって定年により退職されることになりました。

同氏は、この間42年の永きにわたり東北大学附属図書館、各分館等に勤務され、図書館職員として永年培われた豊富な知識と経験を活かし、温厚と誠実な人柄をもって図書館業務のサービス発展・向上及び後輩の指導に尽力されました。

特に、宮城教育大学附属図書館におかれましては、利用環境の整備を主に、管理運営に邁進され、法人化移行時には、強いリーダーシップで、優れた手腕を發揮され、宮城教育大学の教育・研究の充実及び発展に貢献されました。

これら、永きにわたるご苦労とご功績に感謝の意を表するため、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当するものとして表彰していただきたく、推薦いたします。

●略歴

昭和38年4月 東北大学附属図書館川内分校分館
 昭和39年4月 " 教養部分館
 昭和47年4月 " 整理課
 昭和49年4月 " 閲覧課
 昭和54年4月 " 整理課
 昭和58年4月 " 工学分館整理・運用掛長
 昭和60年4月 " 管理掛長
 昭和62年4月 " 整理課受入掛長
 平成3年4月 " 医学分館整理掛長
 平成6年4月 " 情報管理課洋書目録情報掛長

平成7年10月 山形大学附属図書館情報管理課図書館専門員

平成11年4月 東北大学附属図書館医学分館事務長

平成14年4月 宮城教育大学附属図書館事務長

平成17年3月 定年退職

8. 氏名 武内桂子氏

(昭和20年2月18日生)

元宮城教育大学附属図書館運用係長

●推薦理由

武内桂子氏は、昭和38年4月に東北大学工学部に採用されて以来、原子核工学科図書室、附属図書館工学分館、附属図書館農学分館を経て、平成13年4月に宮城教育大学附属図書館運用係長に昇任され、42年の永きにわたり図書館活動の向上に貢献され、平成17年3月末をもって定年により退職されることになりました。

同氏は、この間、東北大学工学部原子核工学科図書室、附属図書館及び農学分館におかれましては、教員、学生等に対して積極的にサービスを展開されました。

とりわけ、宮城教育大学附属図書館におかれましては、持ち前の行動力で率先して業務遂行に当たられ、図書館利用者へのサービス業務の向上に全力を傾注されていました。

また、永年培われた知識や経験と、生来の誠実な人柄をもって、後輩の育成にも尽力されました。

これら、永きにわたるご苦労とご功績に感謝の意を表するため、同氏を東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当するものとして表彰していただきたいと、推薦いたします。

●略歴

昭和38年4月 東北大学工学部原子核工学科

昭和54年4月 " 図書室

平成7年4月 " 附属図書館工学分館

平成10年4月 " 農学分館

平成13年4月 宮城教育大学附属図書館運用係長

平成17年3月 定年退職

9. 氏名 平賀陽子氏

(昭和20年3月29日生)

元山形大学附属図書館情報管理課課長補佐

●推薦理由

平賀陽子氏は、昭和42年山形大学庶務課に採用され、その後工学部に勤務の後、昭和56年4月から昭和57年3月まで附属図書館医学部分館図書係に勤務されました。再度の工学部勤務の後、昭和60年4月に附属図書館工学部分館図書係に配置換えとなり、平成6年4月情報

管理課目録情報係長に昇任、情報サービス課学術情報係長を経て平成11年4月に情報管理課図書館専門員に昇任、平成16年4月に情報管理課課長補佐となり、現在に至る20年間の永きにわたり山形大学附属図書館に勤務され、平成17年3月定年により退職されることになりました。

同氏は、工学部分館において図書館業務システムの導入に当られ、附属図書館中央図書館に転じてからは、遡及入力の促進、附属図書館ホームページの開設、図書館業務システムの更新、附属図書館自己点検報告書の作成、国立大学法人移行のための継承資産管理台帳の整備等について中心的な役割を果たして来られました。

これらのご功績に対し、感謝の意を表するため、同氏を東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当するものとして表彰していただきたく推薦いたします。

●略歴

昭和42年4月 山形大学庶務課採用

昭和42年6月 " 附属図書館管理係

昭和45年4月 " 工学部会計係

昭和56年4月 " 附属図書館医学部分館図書係

昭和57年4月 " 工業短期大学部総務係

昭和60年4月 " 附属図書館工学部分館図書係

平成6年4月 " " 情報管理課目録情報係長

平成9年4月 " " 情報サービス課学術情報係長

平成11年4月 " " 情報管理課図書館専門員

平成16年4月 " " " 課長補佐

平成17年3月 定年退職

10. 氏名 坂本芳廣氏

(昭和26年3月4日生)

元山形大学附属図書館情報サービス課学術情報係長

●推薦理由

坂本芳廣氏は、昭和51年10月山形大学附属図書館受入係に採用され、昭和54年4月同医学部分館図書係、平成6年4月に同分館図書係長に昇任、平成13年4月から附属図書館情報サービス課学術情報係長を務められました。

山形大学附属図書館及び同医学部分館において、29

年の永きにわたり図書館の発展に多大なる貢献をなされ、平成16年12月9日に逝去されました。

同氏はこの間、医学部分館において医学部の教育研究活動を支援するために、学術雑誌及びデータベースの整備に精励されました。

また、長年にわたって培われた資料・情報に対する深い知識とコンピュータについての優れた技術、そして豊富な経験を活かし、高度な利用者教育の実施及び後継者の育成に尽くされました。

更に、附属図書館の「手作り電子図書館」プロジェクトに参加され、電子ジャーナルの導入及びその利用環境の整備、国指定の重要文化財である中条家文書及び山形大学研究紀要の電子化と情報発信に一貫して取り組まれ、電子図書館サービスの中核として力を発揮していただいているところでした。

これらのご苦労とご功績に対し、感謝の意を表するため、同氏を東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条第1項に該当するものとして表彰していただきたく推薦いたします。

●略歴

昭和51年10月	山形大学附属図書館受入係
昭和54年4月	" " 医学部分館図書 係
平成6年4月	" " 医学部分館図書 係長
平成13年4月	" " 情報サービス課 学術情報係長
平成16年12月	死亡退職

第60回東北地区大学図書館協議会総会議事要録

開会のあいさつ

青森大学・青森短期大学附属図書館 館長 菅 勝彦

ようこそ、ここ青森にお越しくださいました。心から歓迎申しあげます。私どもの大学は少人数ですので、こういった大きな総会を開催することは大変重荷であった訳ですが、可能な限り準備をしたつもりでございます。至らない点もあるうかと思いますが、その点についてはお許しいただければありがたく思います。

現在それぞれの大学図書館で様々な問題を抱えているだろうと思います。今回の総会でそれぞれの問題、あるいは共通する問題について、共有し合うことが重要なことだらうと思います。この総会が、皆様のご協力によりまして実り多いものになることを願っております。最後に、本日のこの総会開催にあたりましては、常任幹事館の東北大学、幹事館の皆様には大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。簡単でございますが、開会のご挨拶といたします。ありがとうございました。

歓迎のことば

青森大学 学長 栗原 堅三

ご紹介をいただきました栗原でございます。今日はようこそ青森においていただきました。実は、昨日の青森は大変な雨でございまして、夕方は飛行機が飛ばなかつたのですが、今日は一転して大変良い天気になりました。青森大学はここから大体6キロぐらい南にあるのですが、そこの私の部屋から、すぐ後ろにある八甲田が大変きれいに見えておりました。その八甲田からさらに南の方へ行きますと奥入瀬で、その先が十和田湖になっております。また、西の方には、岩木山がすばらしくきれいに見えております。今ちょうど、青森の郊外から弘前にかけてリンゴが色づいて大変きれいでございます。岩木山をバックにリンゴ畑が一面に広がる光景を、お時間があつたら是非ご覧になっていただきたいと思います。

青森大学は1968年に、経営学部経営学科だけの単科大学として発足いたしました。当時は県庁所在地でありながら4年制大学が一つもなかったところで、青森市で最初の4年制大学として発足いたしました。以後、社会学部、工学部、大学院というように規模を拡大してまいりました。昨年は工学部を改組してソフトウェア情報学部と薬学部を開設いたしました。薬学部を開設したとたんに、来年からは6年制が実施されることになります。今、その申請作業に追われているところであります。どこの大学・私立大学もそうでしょうけれども、少子化の波で入

学生を確保するのに四苦八苦しております。青森大学もそうでありますが、幸い昨年も今年も入学定員を上回る学生をかろうじて確保しているところでございます。

青森大学には図書館の建物が2つあります。最初にできた本館と近年出来た新館の2つであります。本の数は、ここにご列席の皆様の大学に比べてかなり見劣りするのではないかと思いますが、大体14万冊ぐらいあります。まだ整備をしなければならないことがたくさんあります。図書館の話からは少しそれますが、今、大学では特に教務事務とか入試とか各部門でIT化が進んでいます。青森大学も遅ればせながら昨年から業務をIT化しようということで委員会が発足いたしました。多少自慢していいかなと思うのは、携帯電話で出席をとるというシステムです。色々な新聞・テレビ等で報道されておりますが、出欠管理のほかに、履修届けや学生による教員の授業評価も携帯電話でやることができます。学生は携帯電話のボタンを押すと、中央のコンピュータに、たとえば出欠の一覧表が瞬時に出ます。これまででは、カードなどで出席をとって、それをコンピュータに打ち込んで、また表を整理してというような作業を行っていましたが、今後は一瞬にしてそういう表が出来上がるというシステムを、私どもの大学の教員が開発をいたしまして順調に作動しているところでございます。

私どもの大学では図書館のIT化も遅れているのですが、その辺も強化していきたいと思っています。現在図書館では恐らく、色々な利用者へのサービスあるいは種々の合理化がどんどん進められ、課題になっていると思います。今日はどうぞ実りあるご討論をいただいて、図書館の業務が円滑にいくよう、お互いに役に立つような成果が得られれば私どもとしても大変ありがたいと思っております。簡単でございますが私のご挨拶にかえさせていただきます。どうもありがとうございました。

あいさつ

東北大学附属図書館 館長 野家 啓一

ただ今ご紹介にあずかりました、東北大学附属図書館の館長をこの4月から務めております野家と申します。常任幹事館として一言ご挨拶を申しあげます。今回はちょうど第60回目の東北地区大学図書館協議会が青森地区で開かれることになります。これまで準備万端整えていただきました青森大学の菅館長はじめ皆様には厚く御礼申し上げます。また、青森大学の栗原学長にはお忙しい所をご臨席いただきまして、貴重なお言葉をたまわりま

したことをあわせて御礼申し上げます。

先ほどの栗原学長のお話にもありました通り、大学をはじめ、とりわけ図書館はIT化の波に洗われておりまして、昔なら図書館のエントランスホールにはカードボックスがあつて、学生がそこで一枚一枚カードをめくりながら、図書を検索する姿が見られたのですが、最近では、エントランスホールをパソコンの端末が占めておりまして、そこでキーボードをたたいている姿がもう普通になってしまいました。それに伴つて、電子ジャーナルの導入であるとか、あるいはデータベースの充実とか色々な課題が図書館に降りかかってまいりました。まさに図書館は現在、新しい姿を求めての模索の時期にあろうかと思います。

今回、承認事項のところでもやはり電子ジャーナルやそれに関連した問題が議論されることと思いますけれども、これまでの各大学のそれぞれの努力や積み重ねた成果を披露していただき、この東北地区における図書館のあり方、本来の姿を共同で追求する、貴重な場としていただければ大変ありがたいと思っております。幸い、この東北地区の図書館協議会の活動は非常に活発でして、後でお話があると思いますが、「図書館のすすめ」という優れたパンフレットを作つていただきました。これが各方面で大変好評のようでございます。今後とも東北地区的図書館が協力しながら、活発な活動を続けていきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げ、簡単ですがご挨拶といたします。ありがとうございました。

議長団選出

議長団は慣例により総会当番地区より選出することになっており。国立大学は雨森弘前大学附属図書館長、公立大学は松江青森県立保健大学附属図書館長、私立大学は当番校の菅青森大学・青森短期大学附属図書館長をそれぞれ選出。

議長団を代表して菅青森大学・青森短期大学附属図書館長のあいさつがあり、議事に入った。

総会

1 報告事項

① 平成16年度会務報告

(東北大 孫崎田総務課課長)

資料1・2頁に基づき第59回総会以降の会務について報告された。

- 1) 平成16年度末加盟館数は国立15館、公立12館、私立33館の計60館である。

2) 平成16年度合同研修会実施状況は、平成17年7月22日に国際教養大で開催された。「24時間オープン図書館の実情と展望」と題して基調講演、4件の事例発表があった。参加者は国公私立大学の26館、46名であった。

3) 会報の発行は、第56号を平成17年6月に450部発行し、すでに送付されている。

4) 幹事会については1回目平成16年11月25日東北大において開催した。内容は記念事業についてである。2回目は平成17年7月29日に同じく東北大で、第60回総会の議題整理ということで開催した。3回目は本日の総会直前に当ホテルで開催した。内容は総会・部会の運営についてである。

5) 永年勤続表彰については、10名を表彰し、表彰状と記念品の贈呈を行つた。

6) 学術奨励賞については、本年度は候補論文の推薦がなかつた。

7) 記念事業基金の造成については、平成16年度通常会計から記念事業基金として93,000円を繰り入れた。

8) 平成16年度会計監査については、平成17年9月1日、監査館の宮城大学総合情報センター及び仙台白百合女子大学図書館による会計監査を受けた。

② 平成16年度一般報告及び各部会報告

[一般報告]

一般報告に関しては、資料3~5頁を参照することで、報告は省略された。

[部会報告]

◆ 国立部会報告

国立部会報告に関しては資料6~9頁を参照することで、報告は省略された。

◆ 公立部会報告

公立部会報告に関しては資料10~13頁を参照することで、報告は省略された。

◆ 私立部会報告

私立部会報告に関しては資料14~16頁を参照することで、報告は省略された。

③ 記念事業について

(東北大 高橋総務課課長補佐)

総会資料17~18頁の第60回記念事業「図書館のすすめ」の作成について、経緯から編集・刊行及び発送までの報告がなされた。

④ 平成16年度決算報告について

(東北大 高橋総務課課長補佐)

資料19頁の平成16年度決算書に基づき、収入及び支出の報告がなされた。

⑤ 平成16年度記念事業基金決算報告について
(東北大学 高橋総務課課長補佐)
総会資料20頁の平成16年度記念事業基金決算書に基づき収入及び支出の報告がなされた。

⑥ 平成16年度会計監査報告について
(宮城大学 竹岡総合情報センターチーフ)
平成17年9月1日に東北大学附属図書館において、仙台白百合女子大学と本学とで、平成16年度決算書並びに平成16年度記念事業基金決算書について監査した結果、関係帳簿及び証拠書類等も整備されており、相違ないことを確認した旨の報告がなされた。
以上、決算報告、会計監査報告は満場一致で承認された。

2 協議事項

① 平成17年度事業計画(案)について
(東北大学 謙訪田総務課課長)
総会資料21頁の事業計画(案)について以下6項目の提案説明がなされた。
1) 第60回総会の開催。会計年度に沿って本日開催のため、事後承諾となること。
2) 永年勤続者の表彰
3) 学術奨励賞の表彰
4) 研修会の開催(国・公・私立大学合同) 開催当番地区は山形地区の予定
5) 会誌の発行 第57号を平成18年5月発行予定
6) 記念事業基金の造成 平成17年度通常会計から記念事業基金(90,000円)の繰り入れ予定
以上の事業計画案について、満場一致で承認された

② 平成17年度予算(案)について
(東北大学 高橋総務課課長補佐)

③ 平成17年度記念事業基金予算(案)について
(東北大学 高橋総務課課長補佐)
総会資料22頁の各予算(案)について説明がなされ、原案通り満場一致で承認された。

④ 第61回総会当番地区(館)について
(東北大学 高橋総務課課長補佐)
総会資料23頁にもあるように、第61回は宮城地区で宮城大学が当番になっているので確認願いたいとの提案があり、協議の結果、満場一致で承認された。
また、第62回の当番地区は岩手地区が予定されているので、第61回の総会までに当番館を報告願いたいとの依頼があり、確認された。

⑤ 平成17年度合同研修会について
(東北大学 高橋総務課課長補佐)

総会資料24頁の提案理由に基づき、平成17年度当番地区は山形地区、会場大学は山形大学で行うことについて提案があり、了承された。

⑥ 「図書館のすすめ」を他機関等に配布することについて
(東北大学高橋総務課課長補佐)
次のとおり提案理由の説明があり、各部会で協議することとした。
協議事項資料の資料1の配布先リストのとおり、国公私立大学の図書館、公立図書館、文部科学省等に配布することとした。

⑦ 東北大学附属図書館のHPに東北地区図書館協議会のウェブサイトを開設することについて

(東北大学 高橋総務課課長補佐)
次のとおり提案理由の説明があり、各部会で協議することとした。
総会資料26頁に記載のとおり、東北地区大学図書館協議会の活動についての広報は、協議会誌のみで1館に5部しか配布されていないため、見る機会のない人も多い。ウェブサイトつまりホームページに掲載することにより協議会の動きを周知し、理解してもらうことができるようになる。

ホームページに載せる内容は協議事項の資料2のとおりである。併せて「図書館のすすめ」も掲載するようにしたい。

⑧ フレッシュ・パーソンセミナーの開催について
(東北大学 謙訪田総務課課長)
次の通り提案理由の説明があり、各部会で協議することとした。

総会資料の27頁に記載のとおり、東北地区の加盟館で採用等された2年末満程度の職員を対象にして開催する。目的は図書館職員としての基本的な知識を修得させるというのが一点、次いで、相互の交流の場をもうけて人的ネットワークを形成することである。企画の内容(案)は協議事項資料集の資料3のとおりである。

⑨ 学術奨励賞について
(東北大学 高橋総務課課長補佐)
次のとおり提案理由の説明があり、各部会で協議することとした。

総会資料28頁に記載のとおり学術奨励賞については規程が制定されてから40年を経過しているのに、表彰されたケースは2件のみである。応募しやすいように、協議事項資料集の資料4に掲載してある規程について検討願いたい。

⑩ 加盟館職員名簿の掲載について

(東北大學 高橋総務課課長補佐)

次のとおり提案理由の説明があり、各部会で協議することとした。

協議会誌に掲載している加盟館職員名簿について、石巻専修大学から個人情報保護法が施行されたことに伴って、見直しを検討すべきである旨提案があった。

掲載方法をどのようにするか協議願いたい。

⑪ 役員館の改選について

(東北大學 高橋総務課課長補佐)

常任幹事館、幹事館、会計監査館、及び論文審査館の任期が満了するので、役員館の改選をお願いしたい旨提案があった。また常任幹事館については、この席で決定願いたい旨提案があり、満場一致で東北大學を選出した。

その他の役員館については、各部会で選出することとした。

⑫ その他

i 加盟館の退会について

(東北大學 高橋総務課課長補佐)

総会資料31頁のとおり、宮城県農業短期大学附属図書館及び秋田桂城短期大学附属図書館から退会の届出があった。7月29日の幹事会で了承されているので追認願いたいとの説明があり、承認された。

ii 合同研修会の在り方について

(東北大學 高橋総務課課長補佐)

第60回の記念に当たる今年の合同研修会の開催方法及び内容等について、これを提言した公立部会で協議し、全体会議の席で報告していただくこととなった。

iii 東北地区大学図書館協議会略年譜の作成について

て

(東北大學 高橋総務課課長補佐)

第60回記念事業として協議会誌に略年譜を掲載することについて、これを提言した私立部会で協議し、全体会議の席で報告していただくこととなった。

3 承合事項

データベース及び電子ジャーナルの利用法について

総会資料32頁の提案理由のとおりで、この承合事項については、各部会で協議、既に解答済の案件であるが、各部会から全体会議で報告することになった。

4 その他

5 永年勤続について

総会資料34頁の永年勤続表彰者10名には、所属館から表彰の伝達が行われており、表彰者の紹介は資料50～58頁に記載してある旨報告があった。

全体会議

各部会報告

◆国立部会

(小野寺 岩手大学情報メディアセンター図書館情報メディア課長)

⑥ 「図書館のすすめ」を他機関に配布することについては、文部科学省を加えて国、公、私立大学・各機関等に配布すべきであるということになった。

⑦ 東北大学附属図書館のHPに東北地区大学図書館協議会のウェブサイトを開設することについては、異存がない。内容についても資料の案でよい。ただ、名簿等については色々な意見が出た。運用に当たっては更新が非常に大切で、各館の速やかな情報提供をお願いしたい。「図書館のすすめ」についてはせっかく東北地区協議会でつくったものだから、加盟館だけしかダウンロードできない仕組みにしてはどうかという意見である。

⑧ フレッシュ・パーソンセミナーの開催については、是非実施願いたい。

⑨ 学術奨励賞については、対象が論文と規定されているが、論文に加えて図書館活動等の実践事例等も対象とするのが適当である。規程改正については1年くらい時間をかけ、幹事会に付託するのが適当との結論になった。

⑩ 図書館職員の名簿の掲載については結論が出なかった。線引きする案、各大学にまかせる案、窓口がはつきりすれば良いのではないか等の意見があった。

⑪ 役員館の改選については、幹事館を宮城教育大学にお願いすることになった。

◆公立部会

(三浦 秋田県立大学図書館情報センター主査)

⑥ 「図書館のすすめ」を他機関に配布することについては異存がない。ただし作成及び配布の費用負担、配布先の選定基準について、常任幹事館に確認することになった。

⑦ 東北地区大学図書館協議会のウェブサイトを開設することについては、HPの内容と共に異存がない。「図書館のすすめ」について、PDFで提供するのであ

- れば、PCのスペックにより開くのが難しい場合もあり、工夫が必要との意見があった。
- ⑧ フレッシュ・パーソンセミナーの開催については異存ないが、人的ネットワークづくりという観点からは2年未満という条件を見直し、もっと幅を持たせるべきとの意見があった。
- ⑨ 学術奨励賞については枠を広げる方向に異存はない。学術の奨励よりも、各館の業務事例等を発表することが望ましい。また、それを協議会誌等に掲載すべきとの意見があった。
- ⑩ 図書館職員の名簿の掲載については、公立大学の上部にある各自治体で、個人情報の保護と情報公開との関連で検討中のところが多く、公立部会で決めても自治体の方針と食い違ってしまう恐れがあるという意見がある。責任者の氏名は出すべきとの観点から、例えば、主任以上、係長以上という基準を設けるべきであるとの結論になった。
- ⑪ 役員館の改選については、幹事館は宮城大学に、会計監査館は岩手県立大学にお願いする予定であったが、持ち帰って、後日回答をもらうことになった。論文審査館は青森公立大学と青森県立保健大学になった。
- ⑫ 合同研修会の在り方については、種々検討の結果、今年の研修会では各大学のユニークな活動の発表があり、それが大変好評だったことから、地域の大学の特色ある、そこならではの活動や業務の事例を紹介する方が有意義であるとの結論になった。

◆私立部会

(岩本 いわき明星大学附属図書館長)

- ⑥ 「図書館のすすめ」の配布先に、東北六県の県立図書館を加えるべきとの提案があった。
- ⑦ 東北地区大学図書館協議会のウェブサイトを開設することについては、基本的に大賛成である。「図書館のすすめ」については国立部会とは逆で、大いにPRすべきとの意見である。ただし著作権の関係があるので、これは自由にダウンロードできる旨掲示する。
- 今後は、メンテナンス等も含めWGを設置し、ウェブサイトの中身を検討していった方がよいのではないか。
- ⑧ フレッシュ・パーソン・セミナーの開催については、名称を「図書館新任職員研修会」にすべきとの意見があった。開催の趣旨は大変結構であるが、実施のためには予算措置をどうするか明確にしなければならないという意見があった。場合によっては予備費から支出しても良いのではないか。
- ⑨ 学術奨励賞については、まず全体の趣旨をどのように生かすか検討する必要がある。また、学術奨励賞候補論文等審査取扱要項を抜本的に考え直す必要がある。この賞の趣旨を現場の図書館員に、各自の業務が専門職なのだという自覚を促す方向に変えてゆき、「学術奨励賞候補論文」というよりは、現場の事例などを報告するような内容にして応募しやすいものにしていきたい。
- ⑩ 加盟館職員の名簿の掲載については、連絡のための利便性のためのものであるなら、館長と事務関係の責任者名は必要である。他は各大学の自主性にまかせて適当な連絡先を掲載するような、実用性のあるものにすればよい。全職員、臨時職員まで列記する必要はないというのが結論である。
- ⑪ 役員館の改選については、幹事館は岩手医科大学と東北学院大学、会計監査館は東北福祉大学、論文審査館は仙台大学と郡山女子大学になった。
- ⑫ 東北地区大学図書館協議会の略年譜については、協議会誌の50号に50年を記念して略年譜が載った。その後、特に大学図書館の電子化、産官民学の連携による地域社会とのつながり等、大学図書館もこの10年間でかなり様変わりしたので、この激動の10年間の略年譜を掲載すべきであるという意見でまとまった。

協議題・承合事項に関する質疑応答における協議会事務局の回答

- ⑥ 「図書館のすすめ」を他機関に配布するに当たって作成・配布の費用について、作成費用は平成16年度記念事業基金の印刷経費で充当し、配布費用は東北大学附属図書館の館報と一緒に発送するので、協議会からの支出は不要である。
- ⑦ 東北大学附属図書館のHPに東北地区大学図書館協議会のウェブサイトを開設することについては異存がないようであるが、「図書館のすすめ」を掲載し、それを加盟館しか利用できないようにバリアーをかけるか否の問題は、私立部会から提案のあったWGを設置し、検討したい。
- なお、WGのメンバーについては常任幹事館に一任願いたいこと。
- 具体的には、「図書館のすすめ」の作成に当たって、執筆委員となった方々を選出したい旨提案があり、了承。
- ⑧ フレッシュ・パーソンセミナーの開催については、

各部会とも実施することに反対はないが、いくつかの注文がついた。経費の件は、参加者の旅費および資料費等は各大学に負担してもらうことになる。講師についてはそれぞれの地区の中から適任者を充て、経費がかからないようにしたい。

合同研修会とフレッシュパーソンセミナーを合わせて実施するという意見に対しては、事務局としては新人をこれから図書館職員としてきちんと養成していく必要がある。その観点から合同研修会と別に進めていくべきではないかと思っている。

⑨ 学術奨励賞については、各部会とも異論がないようであるが、運用面、規程等を見直した方がいいという意見があったので、幹事会で検討し、61回の総会で改正を行いたい。

⑩ 加盟館職員の名簿掲載については、全く無くするという意見は出なかった。

載せる範囲は、協議会誌は広く流通する可能性があるから、加盟館の館長と事務の責任者だけにして、その他の職種の名簿は協議会の加盟館だけで使用するものをつくる方向で検討してもらう。

⑪ 役員館の改選について整理すると、次のとおりである。

常任幹事館 東北大学

幹事館 (国立) 東北大学・宮城教育大学

(公立) 宮城大学

(私立) 岩手医科大学・東北学院大学

会計監査館 (公立) 岩手県立大学 (予定)
(私立) 東北福祉大学
論文審査館 (国立) 東北大学・宮城教育大学
(公立) 青森公立大学・
青森県立保健大学
(私立) 仙台大学・郡山女子大学

＜承合事項＞

データベース及び電子ジャーナルの利用方法について
承合事項に関しては質疑がなく、別添配布資料を参考することになった。

5. 永年勤続の表彰について

永年勤続表彰の在り方について、私立部会から次の発言があった。

永年勤続の表彰について疑問の声がある。私立大学の職員の勤務形態は国立大学とは必ずしも同じでない。図書館の担当職員も異動し、大学職員としての勤続年数が長くても、図書館だけで20年も続く例は少ない。今行われている表彰制度度にどの程度の意味があるのかという意見もあった。

これに対して、事務局から、今すぐ、例えば年限を引き下げるとか、やめてしまうとかの結論は出せないので、幹事会で検討してもらう。ただ、永年勤続表彰を全く無くするというのは抵抗があるかと思うので、検討させてもらいたいとの回答があった。

次期当番館あいさつ

宮城大学総合情報センター 竹岡次長

宮城大学事務局の竹岡と申します。本来であれば総合情報センターの長澤がこの場でごあいさつするところでありますが、別途公務が入っておりまして、今日は私が参りました。

ご案内の通り宮城大学は平成9年に開学し、今年は農業短期大学を改廃・再編しまして、食産業学部という学部を新たに創りました。現在3学部2研究科体制となっていますが、図書館につきましては、キャンパスが異なるものですから本部、看護学部のある大和キャンパス図書館、食産業学部のある太白キャンパス図書館の2館体制で進めております。現在の課題は、両キャンパスにいかに同質のサービスを提供するかということでありまして、職員と先生方で色々議論を重ねて進めているところです。そういう事情もありまして、総会の場で色々な議論をし、意見を交換できるのはとても有意義なことと考えております。来年、私どもで総会を担当させていただくことになっています。このような立派な総会を開催できるかどうか不安ですが、常任幹事館の東北大学に色々ご指導等をいただきながら務めさせていただきたいと思います。来年は仙台でお待ち申し上げておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

閉会のあいさつ

青森大学・青森短期大学附属図書館 館長 菅 勝彦

本日は皆様、本当にご苦労様でございました。特に常任幹事館の東北大学附属図書館の皆様には大変お世話になりました、ありがとうございました。種々行き届かなかった面もあったかと思いますが、ご容赦いただきたく存じます。私は初めての経験ですけれども、大変有意義な、非常によく活発な議論がなされる総会で、きわめて“爽快”な感じがいたしました。来年また仙台でお会いいたしましょう。これをもって簡単でございますが私の閉会のごあいさつにいたします。本日はありがとうございました。

第60回東北地区大学図書館協議会総会出席者名簿

(国 立)

No.	大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
1	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	館 長	雨 森 道 紘
2	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 部 長	片 野 孝 保
3	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 課 長	五十嵐 輝 雄
4	岩 手 大 学 情 報 メ デ イ ア セン タ ー 図 書 館	副 館 長	佐 藤 芳 彦
5	岩 手 大 学 情 報 メ デ イ ア セン タ ー 図 書 館	情 報 メ デ イ ア 課 長	小 野 寺 直 樹
6	東 北 大 学 附 属 図 書 館	館 長	野 家 啓 一
7	東 北 大 学 附 属 図 書 館	事 務 部 長	内 藤 英 雄
8	東 北 大 学 附 属 図 書 館	総 務 課 長	諏 访 田 義 美
9	東 北 大 学 附 属 図 書 館	総 務 課 課 長 補 佐	高 橋 信 野
10	東 北 大 学 附 属 図 書 館 医 学 分 館	事 務 長	佐 藤 克 義
11	宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	館 長	青 木 守 弘
12	宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	事 務 長	淵 辺 剛
13	秋 田 大 学 附 属 図 書 館	館 長	石 川 三 佐 男
14	秋 田 大 学 附 属 図 書 館	事 務 長	笹 本 達 見
15	山 形 大 学 附 属 図 書 館	館 長	芦 立 一 郎
16	山 形 大 学 附 属 図 書 館	事 務 部 長	清 水 二 郎
17	山 形 大 学 附 属 図 書 館	情 報 サ ー ビ ス 課 長	佐 藤 尚 武
18	福 島 大 学 附 属 図 書 館	館 長	北 村 寧
19	福 島 大 学 附 属 図 書 館	事 務 長	古 川 由 照

(公 立)

No.	大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
1	青森公立大学図書館	主 幹	斎藤 仁
2	青森県立保健大学附属図書館	館 長	松江 一
3	青森県立保健大学附属図書館	総括主査	小野由美
4	岩手県立大学メディアセンター	主 事	川村明子
5	宮城大学総合情報センター	企画情報班長 次長	竹岡純一
6	宮城大学総合情報センター	主 査	渡辺いと
7	秋田県立大学図書・情報センター	図書・情報センター長	小川淳二
8	秋田県立大学図書・情報センター	主 査	三浦たみ子
9	国際教養大学図書・情報センター	図書・情報センター長	勝又美智雄
10	山形県立保健医療大学附属図書館	館 長	山下隆夫
11	山形県立米沢女子短期大学附属図書館	管理専門員	島貫繁春
12	会津大学情報センター附属図書館	情報センター事務長	菊地秀秋
13	福島県立医科大学附属図書館	事 務 長	大橋博行

(私 立)

No.	大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
1	青森大学・青森短期大学附属図書館	館 長	菅 勝彦
2	青 森 大 学 事 務 局	事 務 局 長	高 橋 勇 治
3	青森大学・青森短期大学附属図書館	主 任	下 山 修 司
4	八戸大学・八戸短期大学図書館	事 務 室 長	小 松 良 重
5	八 戸 工 業 大 学 図 書 館	事 務 職 員	藤 卷 利 男
6	八 戸 工 業 大 学 図 書 館	事 務 職 員	馬 場 明
7	岩手医科大学附属図書館	分 館 長	平 野 浩 子
8	岩手医科大学附属図書館	事 務 員	芳 賀 真理子
9	富 士 大 学 図 書 館	課 長	井 手 俊 一
10	盛 岡 大 学 図 書 館	事 務 室 長	八 木 融 子
11	修 紅 短 期 大 学 図 書 館	館 長	半 澤 清次郎
12	仙 台 大 学 附 属 図 書 館	館 長	阿 部 武 彦
13	仙 台 白 百 合 女 子 大 学 図 書 館	館 長	野 坂 東 作
14	仙 台 白 百 合 女 子 大 学 図 書 館	事 務 長	生 出 登
15	石 卷 専 修 大 学 図 書 館	館 長	山 川 紀 夫
16	石 卷 専 修 大 学 図 書 館	学 務 課 主 任	相 澤 浩 美
17	東 北 学 院 大 学 中 心 図 書 館	館 長	遠 藤 恵 子
18	東 北 学 院 大 学 中 心 図 書 館	図 書 情 報 課 長	三 浦 陸
19	東 北 工 業 大 学 附 属 図 書 館	事 務 長	須 田 正 紀
20	東 北 福 祉 大 学 図 書 館	館 長	及 川 三 千 男
21	東 北 福 祉 大 学 図 書 館	課 長	石 田 信 孝
22	東 北 薬 科 大 学 附 属 図 書 館	事 務 部 長	高 橋 誠 一
23	宮 城 学 院 女 子 大 学 図 書 館	館 長	田 中 和 夫
24	宮 城 学 院 女 子 大 学 図 書 館	事 勿 室 長	大 坂 田 茂 子
25	羽 阳 学 園 短 期 大 学 附 属 図 書 館	館 長	田 中 ふみ子
26	い わ き 明 星 大 学 図 書 館	館 長	岩 本 振 武
27	い わ き 明 星 大 学 図 書 館	課 長	玉 手 国 子
28	奥 羽 大 学 図 書 館	課 長	伊 藤 喜 章
29	郡 山 女 子 大 学 図 書 館	主 任 代 行	和 知 剛
30	日 本 大 学 工 学 部 図 書 館	事 勿 課 長	渡 部 直

図書館統計年報

(1) 建物・職員数・蔵書状況及び図書費

(平成 17 年 3 月 31 日現在)

図書館名	建物 延面積	職員数		蔵書冊数				平成16年度増加冊数			平成 16年度 図書 購入費	
		図書館職員	内臨時職員	和書	洋書	計	内開架図書	内指定図書	和書	洋書		
弘前大学	6,102	21	10	463,459	153,503	616,962	82,870	—	7,637	1,654	9,291	36,485
(〃医学部分館)	1,364	7	2	62,229	68,401	130,630	23,342	—	1,317	1,272	2,589	5,269
(〃医学部分室)	317	3	2	38,408	4,819	43,227	—	—	625	65	690	1,838
岩手大学	9,089	23	8	643,465	189,433	832,898	177,954	12,679	7,833	787	8,620	32,985
東北大学	18,215	50	24	1,324,510	1,082,878	2,407,388	165,821	—	29,354	13,893	43,247	189,748
" 医学	4,476	20	11	157,247	252,404	409,651	409,651	—	1,991	1,539	3,530	16,448
" 北青葉山	3,356	10	6	72,052	283,844	355,896	355,896	—	972	3,150	4,122	140,937
" 工学	5,355	17	6	145,342	166,424	311,766	311,766	—	2,186	1,987	4,173	24,562
" 農学	1,279	6	2	69,880	58,611	128,941	84,358	—	1,186	778	1,964	3,912
宮城教育大学	2,934	10	3	271,216	47,989	319,205	183,373	—	4,767	370	5,137	16,391
秋田大学	4,493	19	10	281,000	108,051	389,051	76,700	—	3,528	984	4,512	17,081
" 医学部	1,648	8	5	45,117	55,944	101,061	—	—	1,824	1,260	3,084	7,498
山形大学	7,626	19	7	494,088	175,445	669,533	127,739	—	6,117	1,701	7,818	30,497
" 医学部	1,195	5	2	33,898	67,848	101,746	97,052	—	823	493	1,316	6,741
" 工学部	3,290	6	3	110,355	53,302	163,657	64,137	—	1,539	647	2,186	10,211
" 農学部	969	3	1	70,998	16,780	87,778	10,000	—	1,083	324	1,407	5,317
福島大学	7,218	15	2	570,112	217,683	787,795	106,925	—	10,389	2,486	12,875	94,876
青森公立大学	3,337	5	2	91,829	41,049	132,878	32,878	1,164	4,337	701	5,038	15,306
青森県保健大	1,850	5	3	55,758	22,062	77,820	77,820	—	5,149	676	5,825	14,451
岩手県立大学	6,425	6	1	152,724	51,653	204,377	—	—	1,579	80	1,659	15,843
宮城大学	2,193	8	5	53,303	13,339	66,642	53,938	409	2,600	65	2,665	12,950
秋田県立大学	4,867	10	5	87,913	28,109	116,022	96,650	—	5,550	427	5,977	21,574
秋田公美工短	1,194	専2兼9	0	23,386	6,264	29,650	23,720	—	1,676	93	1,769	6,370
国際教養大学	1,973	4	3	8,051	42,514	50,565	—	—	4,737	2,549	7,286	5,988
山形保健医大	890	4	3	40,815	6,061	46,876	—	—	2,459	208	2,667	7,027
米沢女子短大	1,144	4	2	87,999	6,131	94,130	94,130	—	2,077	115	2,192	6,969
会津大学	2,418	8	2	54,117	67,722	12,1839	100,389	—	937	889	1,826	4,050
会津大学短大	443	2	0	67,160	7,465	74,625	—	—	△ 678	1	△ 677	1,752
福島県立医大	3,400	12	0	122,617	92,268	214,885	174,425	—	2,576	102	2,678	7,439
青森大学	2,177	5	1	122,930	20,980	143,910	—	—	8,007	366	8,373	11,670
東北女子大学	247	2	0	29,992	4,184	34,176	34,176	—	533	0	533	1,561
八戸大学	1,636	3	1	125,025	12,704	137,729	69,200	1,061	7,120	92	7,212	24,512
八戸工業大学	2,432	8	0	94,028	25,054	119,082	26,761	—	2,629	495	3,124	11,138
弘前学院大学	1,280	4	0	69,793	17,146	86,939	86,939	200	1,354	136	1,490	4,540
岩手医科大学	4,342	13	3	127,866	127,585	255,451	—	—	△ 2,801	△ 349	△ 3,150	3,906
富士大学	1,661	5	1	123,046	27,426	150,472	43,454	—	6,553	739	7,292	21,797
盛岡大学	1,211	7	1	127,224	20,791	148,015	—	—	2,537	167	2,704	8,955
修紅短期大学	206	1	0	22,174	424	22,598	22,598	—	372	10	382	768
岩手看護短大	223	1	1	16,420	2,400	18,820	14,530	700	282	70	352	2,611
仙台大学	1,120	2	0	71,190	13,934	85,124	50,000	—	3,040	332	3,372	6,948
白百合女子大	835	8	2	61,455	8,931	70,386	61,246	—	2,376	127	2,503	12,289
石巻専修大学	3,495.00	7	0	88,813	52,794	141,607	—	—	2,011	1,419	3,430	9,132
東北学院大学	7,602	42	25	387,346	269,200	656,546	24,508	—	14,846	4,120	18,966	105,524
" 多賀城	2,776	42	25	89,627	54,588	144,215	144,215	—	1,328	980	2,308	18,629
" 泉	6,100	42	25	167,693	85,464	253,157	167,693	—	6,743	2,773	9,516	60,339
東北工業大学	3,413	7	1	147,470	48,330	195,800	40,572	—	3,420	200	3,620	10,182
東北福祉大学	3,503	16	3	220,756	58,773	279,529	104,568	—	7,474	1,658	9,132	62,091
東北文化学園	1,982	4	1	56,127	13,115	69,242	48,333	20,909	3,196	1,546	4,742	6,541
東北薬科大学	1,392	9	2	55,236	38,599	93,835	14,009	—	1,136	1,194	2,330	7,860
宮城学院女大	3,215	7	4	265,390	91,951	357,341	40,861	941	5,561	1,509	7,070	42,029
尚絅学院大学	807	5	3	87,239	19,711	106,950	83,667	—	3,139	151	3,290	15,032
秋田経法大学	1,689	5	2	137,574	28,205	165,779	80,068	—	2,726	39	2,765	11,210
東北芸工大学	2,155	3	1	85,290	11,929	97,219	97,219	—	2,281	174	2,455	12,585
羽陽学園短大	705.34	2	0	46,820	2,366	49,186	49,186	106	1,392	27	1,419	3,900
山形短期大学	1,533	6	1	92,346	8,086	100,432	64,688	245	1,725	26	1,751	6,316
いわき明星大	3,453	8	4	132,202	48,717	180,919	34,250	—	6,617	1,664	8,281	55,214
奥羽大学	2,635	6	0	133,935	86,975	220,910	220,910	—	5,108	3,471	8,579	86,759
郡山女子大学	1,600	4	0	87,144	13,961	101,105	101,505	—	1,508	136	1,644	2,565
東日本国際大	1,221	4	0	59,453	9,936	69,389	69,389	—	1,254	59	1,313	4,448
日本大工学部	4,695	17	13	209,880	119,038	328,918	328,918	—	3,716	2,048	5,764	24,505
桜の聖母短大	642	2	1	40,429	8,276	48,705	48,705	—	2,198	146	2,344	6,173
福島学院大学	1,990	4	2	69,040	5,260	74,300	74,300	—	1,731	3	1,734	4,316

(2) 利用状況及び文献複写件数

(平成16年度分)

図書館名	図書館利用状況										文献複写						
	対象 学生 数	学生				対象 職員 員数	教職員				学内分	学外分	計				
		館内閲覧		館外貸出			館内閲覧		館外貸出								
		人員	冊数	人員	冊数		人員	冊数	人員	冊数							
弘前大学	人 6,575	人 —	冊 —	人 24,168	冊 37,513	人 1,902	人 —	冊 —	人 1,000	冊 2,063	件 1,103	件 5,107	件 6,210				
(〃医学部分館)	—	—	—	6,005	9,568	—	—	—	1,206	2,584	770	6,692	7,462				
(〃医学部分室)	—	—	—	8,843	13,850	—	—	—	480	922	—	—	—				
岩手大学	人 6,338	人 —	—	—	46,164	961	—	—	—	3,032	4,330	1,552	5,882				
東北大学	人 18,327	人 —	—	99,510	123,399	7,478	—	—	6,609	13,273	4,512	5,700	10,212				
〃医学	人 2,044	人 —	—	—	6,715	2,657	—	—	—	1,161	930	20,293	21,223				
〃北青葉山	人 2,242	人 —	—	6,554	11,045	576	—	—	527	974	10,750	5,226	15,976				
〃工学	人 6,662	人 —	—	25,086	32,666	1,093	—	—	1,247	2,198	15,909	3,988	19,897				
〃農学	人 1,207	人 —	—	2,826	4,832	175	—	—	190	288	4,053	4,082	8,135				
宮城教育大学	人 1,820	人 139,103	—	12,224	20,804	467	—	—	691	22,443	58	557	615				
秋田大学	人 4,938	人 —	—	14,956	27,855	1,424	—	—	1,133	2,634	1,864	1,726	3,590				
〃医学部	人 1,098	人 —	—	8,150	11,150	1,256	—	—	372	1,225	4,639	7,759	12,398				
山形大学	人 4,585	人 —	—	13,934	27,908	933	—	—	1,265	2,692	353	1,875	2,228				
〃医学部	人 896	人 —	—	2,569	4,955	1,080	—	—	1,226	2,320	115	4,161	4,276				
〃工学部	人 4,181	人 —	—	7,444	14,434	302	—	—	799	2,050	213	1,958	2,171				
〃農学部	人 660	人 —	—	2,883	4,619	170	—	—	260	1,131	32	266	298				
福島大学	人 4,565	人 —	—	17,590	40,125	617	—	—	1,647	5,008	5,895	3,023	8,918				
青森公立大学	人 1,294	人 —	—	11,279	20,848	66	—	—	525	1,158	—	—	—				
青森県保健大	人 732	人 —	—	10,682	26,436	334	—	—	945	3,266	12,711	2,046	14,757				
岩手県立大学	人 2,421	人 86,180	—	10,051	20,100	425	3,179	—	676	1,686	—	389	389				
宮城大学	人 1,437	人 —	—	8,916	18,839	281	—	—	580	1,929	9,709	2,208	11,917				
秋田県立大学	人 1,602	人 —	—	14,230	30,631	296	—	—	1,597	5,402	3,204	3,259	6,463				
秋田公美工短	人 325	人 —	—	2,868	5,498	62	—	—	395	885	—	23	23				
国際教養大学	人 136	人 —	—	—	343	65	—	—	—	510	742	24	766				
山形保健医大	人 381	人 —	—	5,028	9,295	62	—	—	460	843	2,494	766	3,260				
米沢女子短大	人 649	人 20,873	—	3,552	6,760	101	1,196	—	296	686	517	21	538				
会津大学	人 1,032	人 —	—	4,016	7,174	186	—	—	367	756	488	31	519				
会津大学短大	人 340	人 —	—	1,921	3,378	152	—	—	333	690	39	12	51				
福島県立医大	人 1,266	人 —	—	6,835	13,938	1,655	—	—	2,253	4,074	—	7,274	7,274				
青森大学	人 2,030	人 —	—	—	11,921	139	—	—	—	10,067	71,692	1,433	73,125				
東北女子大学	人 407	人 5,086	—	—	543	96	1,431	—	—	143	453	5	458				
八戸大学	人 786	人 14,406	—	1,562	3,176	145	821	—	275	776	1,273	183	1,456				
八戸工業大学	人 1,994	人 1,642	2,086	3,401	5,241	241	7	13	156	539	130	85	215				
弘前学院大学	人 772	人 —	—	3,030	5,892	159	—	—	194	610	4,152	222	4,374				
岩手医科大学	人 1,493	人 —	—	3,117	5,682	2,618	—	—	3,733	11,798	—	—	—				
富士大学	人 1,004	人 97	123	2,656	4,593	127	74	550	457	1,226	3,687	163	3,850				
盛岡大学	人 2,180	人 20,316	—	6,542	12,029	194	1,069	—	409	953	2,092	598	2,690				
修紅短期大学	人 208	人 —	—	—	1,179	70	—	—	—	79	14	3	17				
岩手看護短大	人 244	人 672	1,255	1,174	1,967	21	20	40	40	87	—	—	—				
仙台大学	人 2,024	人 —	—	2,452	3,991	190	—	—	62	135	—	52	52				
白百合女子大	人 1,173	人 —	—	3,307	5,465	235	—	—	412	756	103	21	124				
石巻専修大学	人 2,220	人 —	—	4,028	7,350	151	—	—	607	1,358	—	351	351				
東北学院大学	人 12,588	人 —	—	10,332	20,359	1,052	—	—	1,262	4,790	694	1,970	2,664				
〃多賀城	人 2,115	人 —	—	6,064	12,375	258	—	—	390	2,482	61	754	815				
〃泉	人 12,605	人 —	—	10,768	18,346	739	—	—	1,166	6,500	320	567	887				
東北工业大学	人 3,453	人 —	—	3,987	6,879	232	—	—	327	663	1,852	97	1,949				
東北福祉大学	人 4,240	人 —	—	18,521	34,874	490	—	—	588	1,725	1,087	2,503	3,590				
東北文化学園	人 2,612	人 —	—	12,338	17,382	301	—	—	364	944	4,537	968	5,505				
東北薬科大学	人 1,726	人 —	—	1,713	2,425	155	—	—	532	645	—	97	97				
宮城学院女大	人 3,552	人 —	—	15,229	23,857	372	—	—	636	2,615	8	901	909				
尚絅学院大学	人 1,421	人 —	—	5,800	11,407	262	—	—	293	804	—	4	4				
秋田経法大学	人 1,967	人 —	—	2,040	4,087	191	—	—	172	990	9	8	17				
東北芸工大学	人 2,070	人 —	—	9,267	19,907	108	—	—	602	1,382	2,720	106	2,826				
羽陽学園短大	人 325	人 —	—	—	5,686	61	—	—	—	1,255	—	108	108				
山形短期大学	人 763	人 39,452	—	4,244	8,086	182	—	—	176	582	—	4	4				
いわき明星大	人 2,572	人 —	496	—	14,674	248	—	18	—	793	623	205	828				
奥羽大学	人 1,090	人 35,635	—	2,237	3,952	410	9,652	—	1,335	2,661	11,729	639	12,368				
郡山女子大学	人 1,436	人 13,124	—	—	3,576	238	1,349	—	—	1,084	—	111	111				
東日本国際大	人 854	人 8,020	—	1,073	1,705	196	1,253	—	225	742	353	108	461				
日本大工学部	人 5,022	人 163,845	—	10,687	23,080	241	2,150	—	1,034	4,781	—	576	576				
桜の聖母短大	人 468	人 34,521	—	2,428	4,704	93	1,328	—	386	885	—	25	25				
福島学院大学	人 1,278	人 —	—	1,948	3,287	229	—	—	165	398	—	26	26				

(3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数・製本冊数

(平成16年度分)

図書館名	雑誌・新聞所蔵			受付種類数						雑誌・新聞 購入費	製本費	
				受付数			内購入分					
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計		冊数	金額
弘前大学	種	種	種	種	種	種	種	種	種	千円	冊	千円
(〃医学部分館)	13,296	4,043	17,339	3,104	521	3,625	585	409	994	41,218	437	701
(〃医学部分室)	3,163	2,479	5,642	666	448	1,114	91	315	406	34,118	1,580	2,614
岩手大学	533	140	673	246	29	275	39	23	62	1,404	156	250
東北大学	7,753	2,087	9,840	5,317	561	5,878	474	404	878	44,081	1,151	1,896
〃医学	21,234	15,436	36,670	6,125	3,249	9,374	1,779	2,503	4,282	190,727	6,390	12,433
〃北青葉山	4,865	10,050	14,915	1,760	1,410	3,170	744	1,263	2,007	138,403	4,264	8,614
〃工学	1,825	6,725	8,550	768	1,216	1,984	161	607	768	131,773	2,536	4,878
〃農学	3,269	4,018	7,287	1,563	804	2,367	382	695	1,077	104,805	1,728	3,116
宮城教育大学	2,984	1,646	4,630	1,180	393	1,573	135	248	383	35,856	1,121	2,356
秋田大学	5,903	2,685	8,588	2,430	488	2,918	484	476	960	54,957	2,617	4,310
〃医学部	1,443	1,628	3,071	661	351	1,012	177	293	470	34,723	1,591	2,623
山形大学	9,028	3,029	12,057	2,616	833	3,449	195	495	690	41,590	112	181
〃医学部	2,737	2,149	4,886	729	525	1,254	224	368	592	51,444	287	479
〃工学部	2,137	1,110	3,247	444	133	577	81	91	172	18,220	358	599
〃農学部	1,145	404	1,549	823	53	876	103	48	151	7,202	309	500
福島大学	9,857	2,761	12,618	3,035	630	3,665	630	515	1,145	36,582	2,632	4,393
青森公立大学	267	256	523	303	256	559	162	249	411	18,678	440	855
青森県保健大	711	239	950	559	184	743	311	176	487	18,969	1,024	2,318
岩手県立大学	963	611	1,574	457	280	737	444	280	724	25,486	1,179	2,157
宮城大学	631	371	1,002	269	327	596	324	237	561	23,776	—	—
秋田県立大学	624	603	1,227	485	292	777	378	285	663	33,747	1,265	2,201
秋田公美工短	83	35	118	83	35	118	80	35	115	2,035	—	—
国際教養大学	37	29	66	37	29	66	26	26	52	758	301	521
山形保健医大	726	176	902	—	—	—	87	89	176	9,294	476	1,087
米沢女子短大	165	48	213	146	26	172	103	26	129	2,579	252	124
会津大学	492	802	1,294	288	345	633	130	345	475	47,532	304	517
会津大学短大	166	114	280	94	37	131	94	37	131	3,162	82	147
福島県立医大	4,279	2,897	7,176	1,291	476	1,767	276	382	658	69,823	2,485	3,744
青森大学	174	121	295	174	121	295	160	100	260	18,514	—	—
東北女子大学	314	21	335	438	0	438	47	20	67	2,560	—	—
八戸大学	905	118	1,023	795	77	872	177	66	243	5,497	—	—
八戸工業大学	837	620	1,457	449	194	643	227	190	417	20,720	448	1,003
弘前学院大学	744	47	791	564	36	600	81	36	117	2,817	46	78
岩手医科大学	21	2	23	1,295	587	1,882	352	434	786	68,984	2,348	3,903
富士大学	3,080	234	3,314	1,338	140	1,478	196	118	314	16,926	868	1,640
盛岡大学	2,248	189	2,437	1,096	50	1,146	166	48	214	4,951	107	186
修紅短期大学	52	1	53	38	0	38	33	0	33	291	—	—
岩手看護短大	188	42	230	178	24	202	47	6	53	—	203	400
仙台大学	1,285	177	1,462	107	96	203	107	96	203	8,986	568	1,079
白百合女子大	260	84	344	221	78	299	198	76	274	10,972	857	1,800
石巻専修大学	1,126	680	1,806	833	320	1,153	355	295	650	47,186	1,545	2,822
東北学院大学	5,528	1,596	7,124	2,244	412	2,656	308	386	694	27,374	939	1,809
〃多賀城	1,591	1,263	2,854	591	390	981	250	365	615	58,480	529	1,065
〃 泉	2,276	860	3,136	695	361	1,056	345	361	706	49,369	972	1,879
東北工业大学	1,104	572	1,676	692	336	1,028	224	312	536	47,257	654	1,373
東北福祉大学	3,519	656	4,175	1,887	307	2,194	435	281	716	15,529	403	1,509
東北文化学園	952	129	1,081	155	20	175	128	41	169	6,386	214	449
東北薬科大学	433	443	876	246	215	461	59	199	258	61,027	1,200	2,482
宮城学院女大	5,975	639	6,614	1,535	274	1,809	390	273	663	17,686	—	315
尚絅学院大学	—	—	—	232	60	292	214	60	274	5,446	101	190
秋田経法大学	7	—	7	795	99	894	227	99	326	8,522	25	41
東北芸工大学	204	104	308	118	52	170	97	52	149	5,153	—	—
羽陽学園短大	79	11	90	75	6	81	74	6	80	1,435	98	210
山形短期大学	197	39	236	143	17	160	143	17	160	2,976	—	—
いわき明星大	622	365	987	223	148	371	221	148	369	27,865	1,054	1,762
奥羽大学	1,048	1,192	2,240	621	211	832	246	179	425	54,098	139	2,442
郡山女子大学	—	—	—	158	15	173	137	15	152	4,198	471	661
東日本国際大	204	76	280	410	46	456	80	41	121	4,562	372	702
日本大工学部	1,611	1,289	2,900	836	525	1,361	534	503	1,037	61,373	1,990	3,662
桜の聖母短大	112	28	140	87	17	104	81	17	98	1,719	81	153
福島学院大学	73	21	94	63	11	74	59	11	70	2,438	36	76

協議会総会会場一覧

回	年	所在地	会 場 大 学	備 考	回	年	所在地	会 場 大 学	備 考
1	昭和 22	宮城 仙台	東北大学校 工業専門学校		33	53	福島	島大	三次
2	"				34	54	宮城	東北福祉大	学
3	23	"	東北学院大学		35	55	秋田	秋田大	学
4	24	"	東北大	学	36	56	山形	山形大	学
5	25	岩手	岩手大	学	37	57	宮城	宮城学院女子大	学
6	26	山形	山形大	学	38	58	青森	弘前大	学
7	27	青森	弘前大	学	39	59	岩手	手医大	学
8	28	福島	福島大	学	40	60	宮宮	東北大	学
9	29	秋田	秋田大	学	41	61	福島	福島県立医科大学	学
10	30	宮城	宮城学院女子大	学	42	62	秋田	秋田大	学
11	31	岩手	岩手医科大	学	43	63	宮城	東北学院大	学
12	32	山形	山形大	学	平成		山形	山形大	学
13	33	秋田	秋田大	学	44	元	青森	弘前大	学
14	34	青森	弘前大	学	45	2	宮城	卷大修	学
15	35	福島	福島県立医科大学	学	46	3	岩手	富士大	学
16	36	宮城	東北大	学	47	4	福島	郡山女子大	学
17	37	岩手	岩手大	学	48	5	宮城	東北薬科大	学
18	38	福島	福島大	学	49	6	秋田	秋田経済法科大	学
19	39	宮城	東北学院大	学	50	7	山形	山形大	学
20	40	秋田	秋田大	学	51	8	宮城	東北工業大	学
21	41	山形	山形大	学	52	9	岩手	青森公立大	学
22	42	宮城	東北薬科大	学	53	10	福島	盛岡大学・盛岡大学短期大学部	学
23	43	青森	弘前大	学	54	11	宮城	宮城教育大	学
24	44	岩手	奥州大	学	55	12	岩手	奥羽大	学
25	45	宮城	東北工業大	学	56	13	福島	秋田県立大	学
26	46	福島	福島県立医科大学	学	57	14	秋田	東北福祉大	学
27	47	秋田	秋田経済大	学	58	15	宮城	東北形大	学
28	48	宮城	宮城教育大	学	59	16	岩手	山形大	学
29	49	山形	山形大	学	60	17	青森	青森大学・青森短期大学	
30	50	青森	弘前大	学	61	18	宮城		
31	51	宮城	東北大	学	62	19	岩手		
32	52	岩手	岩手大	学	63	20	福島		
				三次	64	21	宮城		

※ 第57回総会において第59回から第64回までの当番地区が確認された。

東北地区大学図書館協議会役員館一覧

	常任幹事館	幹事館	会計監査館	論文審査館
	(国立)	(公立)	(私立)	(国立)
				(公立)
第44回総会 (H1.9～H3.8)	東北大 東北大 弘前大学	福島県立医科大学 盛岡大学 東北学院大学	宮城県農業短期大学 東北福祉大学	岩手県立盛岡短期大学 福島県立会津短期大学 東北大学 弘前大学
第46回総会 (H3.9～H5.8)	東北大 東北大 東北大 岩手大学	福島県立会津短期大学 宮城学院女子大学 石巻専修大学	宮城県農業短期大学 東北福祉大学	福島県立医科大学 山形県立米沢女子短期大学 東北大学 岩手大学
第48回総会 (H5.9～H7.8)	東北大 東北大 東北大 官城教育大学	会津大学短期大学部 東北福祉大学 いわき明星大学	宮城県農業短期大学 東北学院大学	福島県立医科大学 秋田県立農業短期大学 東北大学 官城教育大学
第50回総会 (H7.9～H9.8)	東北大 東北大 東北大 秋田大学	会津大学 東北薬科大学 富士大学	宮城県農業短期大学 宮城学院女子大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学 東北大学 秋田大学
第52回総会 (H9.9～H11.8)	東北大 東北大 東北大 福島大学	会津大学 八戸工業大学 東北工業大学	宮城県農業短期大学 宮城学院女子大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学 東北大学 福島大学
第54回総会 (H11.9～H13.8)	東北大 東北大 東北大 山形大学	福島県立医科大学 秋田経済法科大学 東北文化学園大学	山形県立米沢女子短期大学 宮城学院女子大学	秋田県立大学 秋田公立美術工芸短期大学 東北大学 山形大学
第56回総会 (H13.9～H15.8)	東北大 東北大 東北大 弘前大学	山形県立保健医療大学 仙台百合女子大学 秋田経済法科大学	秋田県立大学 仙台百合女子大学	宮城大学 宮城県農業短期大学 東北大学 弘前大学
第58回総会 (H15.9～H17.8)	東北大 東北大 東北大 岩手大学	秋田県立大学 秋田大学 いわき明星大学	宮城学院女子大学 宮城大学	仙台白百合女子大学 岩手大学
第60回総会 (H17.9～H18.8)	東北大 東北大 東北大 官城教育大学	官城大学 岩手医科大学	東北学院大学 岩手県立大学	東北大学 東北福祉大学 青森県立保健大学 青森県立保健大学
				仙台大学 郡山女子大学

東北地区国立大学図書館防災連絡網設置要項

平成12年4月20日 第31回
国立大学図書館東北地区協議会決定
平成16年4月22日 第35回
東北地区国立大学図書館協会改正

(目的)

第1条 東北地区国立大学図書館協会会則（以下「会則」という。）第2条に定める会員（以下「会員」という。）において地震等による激甚な災害が発生した際、会員における図書館業務の維持に関し、会員間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

(地区防災連絡網)

第2条 地区防災連絡網は会員により構成し、会員間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、国立大学図書館協会の東北地区理事館を充て、地区連絡館が被災した場合は、東北地区国立大学図書館協会総会の当番館がこれに代わるものとする。

(地区防災連絡館)

第3条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱等をさけるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。但し、会員における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等会員間に共通する日常業務の維持に関して、協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び会員の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、必要がある場合は、国立大学図書館協会の他地区防災連絡館等との連絡にあたるものとする。

5 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会の公立大学及び私立大学の代表との連絡窓口になるものとする。

(会員の連絡窓口の設置)

第4条 会員に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

(雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、会則第5条に定める会議において定める。

附則

この要項は、平成12年4月20日から施行する。

附 則

- 1 この要項は、平成16年4月22日から施行する。
- 2 第2条2項の規定において、東北地区理事館と東北地区国立大学図書館協会総会の当番館が重複した場合、地区防災連絡館は会則第5条に定める総会において決定する。

東北地区大学図書館協議会公立部会防災連絡網設置要項

平成12年9月20日

東北地区大学図書館協議会（公立部会）

（目的）

第1条 東北地区大学図書館協議会公立部会加盟館（以下「公立部会加盟館」という。）において地震等による激甚な災害により被災した際、公立部会加盟館における図書館業務の維持に関し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

（地区防災連絡網）

第2条 地区防災連絡網は、公立部会加盟館により構成し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会公立部会幹事館（以下「公立部会幹事館」という。）を充て、公立部会幹事館が被災した場合は、公立部会会計監査館がこれに代わるものとする。

（被災館）

第3条 地震等による激甚な災害に被災した公立部会加盟館（以下「被災館」という。）は、被災状況等を地区防災連絡館へ連絡するものとする。

（地区防災連絡館）

第4条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱を避けるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。ただし、個々の公立部会加盟館における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等公立部会加盟館に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び公立部会加盟館の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会加盟の国立部会及び私立部会の代表との連絡窓口になるものとする。

（会員の連絡窓口の設置）

第5条 公立部会加盟館に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

（雑則）

第6条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、東北地区大学図書館協議会公立部会総会において定めるものとする。

附則

この要項は、平成12年9月20日から施行する。

東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ

(平成14年9月20日)

東北地区大学図書館協議会

第56回総会の協議結果を尊重し、東北地区大学図書館協議会に加盟する各大学図書館は、「国公私立大学図書館間相互貸借に関する協定」の目的にある「図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もってわが国の学術研究・教育の進展に寄与すること。」の精神を生かし、以下を目標として努力する。

記

1. 来館利用の際の持参書類については、従来必要とした、「利用依頼書・閲覧許可願」等に代り、所属大学発行の「身分証明書」、「学生証」等の本人確認が可能なものの提示により利用を可能とすること。
2. 各大学それぞれの事情があり（例：女子大学の場合における男子学生の入構等）、また、確実に資料を入手するためにも事前連絡は必要と思われるが、急な来館についても、受入館はできるだけのサービスを行うこと。
3. 相互利用を円滑に行うため、各館は所属する研究者、学生に対して相互利用手続きに関する十分な利用者教育を行うこと。
4. 相互利用を円滑に行うため、各館は「図書館間相互協力便覧」に利用上の留意事項を明記するとともに、各館のホームページ上の利用案内においても明記すること。

東北地区大学図書館協議会会則

昭和22年5月30日制定

昭和24年12月2日制定（全改）

改正：昭和28年11月13日（第1条（名称）改正）、昭和29年6月11日（第7条（会費）、第8条（票決権）改正）、昭和31年10月5日（第6条（監査館）追加）、昭和33年10月7日（第5条（顧問）追加）、昭和34年8月4日（第9条（会費）改正）、昭和39年7月9日（第9条（会費）改正・同第2項（会計年度）制定）、昭和43年5月10日（第9条（会費）改正）、昭和46年5月13日（第9条（会費）改正）、昭和50年5月16日（第2条（加盟組織の追加）改正）、昭和53年10月19日（第9条（会費・会計年度）改正）、昭和56年10月22日（第6条（幹事館を追加）改正）、昭和61年9月25日（第9条（会費）改正）、平成3年9月26日（第9条（会費）改正）、平成6年9月21日（第9条（会費）改正）

第1条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第2条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第3条 本会は毎年1回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第4条 本会の目的を達成するため、隨時図書館に関する講習会の開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第5条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。

顧問は総会に出席し、また隨時意見を述べることができる。

第6条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。

2. 幹事会は毎年少なくとも1回招集するものとする。

3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。

4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第7条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館をおく。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第8条 本会の事務所は、常任幹事館内におく。

第9条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額15,000円とする。

2. 本会の会計年度は毎年9月1日にはじまり、翌年8月31日に終わる。

第10条 総会の票決権は1館につき1票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第11条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

本会則は昭和24年12月2日から施行する。

附 則（昭和53年10月19日第33回総会）

この改正による会則は、昭和53年10月19日から施行し、昭和54年9月1日から適用する。

附 則（昭和56年10月22日第36回総会）

この改正による会則は、昭和56年10月24日から施行し、昭和56年10月24日から適用する。

附 則（昭和61年9月25日第41回総会）

この改正による会則は昭和61年9月27日から施行する。

附 則（平成3年9月26日第46回総会）

この改正による会則は平成3年9月26日から施行する。

附則（平成6年9月21日第49回総会）
この会則は平成6年9月21日から施行する。

○第38回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和58年9月29日～30日（会場：弘前大学）

全体会議（第1日）

6. 役員の改選について

常任幹事館から、役員の任期（2年）が今年度で満了となるため、次期役員館選出について提案がなされた。これは、幹事館が国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、うち1館が常任幹事館となる。会計監査館は公立1館、私立1館で、学術奨励論文審査委員館は、国・公・私立各2館の計6館となる。以上について各部会で検討し、選任の上全体会議で取りまとめることにした。又、会計監査館については、常任幹事館を決め、それに近い大学を推薦願いたいとの提案があり承認された。

東北地区大学図書館協議会表彰規程

昭和38年6月20日制定

改正：昭和57年10月14日（第2条（退職による表彰）・第3条（幹事会で選考）改正）、昭和61年9月25日（第3条（表彰を早める）改正）、平成3年9月26日（第3～5条（退職時の表彰）改正）
(趣旨)

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下協議会という）会則第4条に基づき加盟館の職員に対して行う表彰はこの規程の定めるところによる。

（表彰を受ける者）

第2条 前条の表彰は次の各項のいずれかによる。

1. 退職の日において、加盟館への勤務年数が20年以上になりかつ、図書館のために貢献した者。
2. 協議会の運営のために功績顕著であった者。

（表彰の方法）

第3条 表彰は協議会の常任幹事館の長が表彰状を授与して行う。但し、場合によっては常任幹事館の長に代り、表彰を受ける者の属する図書館の長が行うことができる。

2. 表彰に際しては、表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

（表彰の承認）

第4条 第2条の定めによる表彰は、表彰を受ける者が属する図書館の長、又は、加盟館の推せんに基づき、幹事会の承認を経るものとする。

2. 前項による推せんは、所定の様式により、その年の12月末までに常任幹事館に申請する。

（表彰を行う日）

第5条 表彰は表彰を受ける者が希望する、次の各号に掲げるいずれかの日に行う。

- 一 協議会総会の日
- 一 表彰を受ける者が退職する日

（規程の改正）

第6条 この規程の改正は、協議会の議決によって行う。

附 則

この規程は昭和38年6月20日より実施する。

附 則

この改正による規程は昭和57年10月14日より実施する。

附 則

この改正による規程は昭和61年9月27日より実施する。

附 則

この規程は平成3年9月26日から実施する。

(別紙)

平成 年度永年勤続表彰者推薦調書

氏 名	大学名 :
生年月日	
推薦理由	
略歴	
推薦者名	

○第43回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和63年9月21日～22日（会場：東北学院大学）

全体会議（第1日）

3) 協議事項

追加議題

議長（渡部）

もう1件連絡があるそうでございます。

笠原課長（東北大・総務課長）

……追加といいますか説明をさせていただきたいことがございます。……

……つまり表彰規程の解釈のことであります。第2条第1号に勤務期間というものがありますがこれは20年以上であるということです。それならば、勤務期間とは何をさすのか、どういう計算の仕方をするのかというところが、問題になっていたようであります。これにつきまして、今年の幹事会におきまして、勤務期間は要するに通算して勤務の都合で間があいておれば、それぞれ足して20年以上になれば表彰の該当者であるということになります。それと、一ヶ月の計算で参りますので、月の末日と始めて該当した場合でも同じ一ヶ月に計算いたします。そういうことですから、19年と11ヶ月と1日でも、20年あるという計算になります。

それから退職には死亡退職はどうなるんだろうかということがございましたが、当然死亡された方も含まれます。それから、加盟館を退職しましたけれども、更に他の加盟館に現に在職している場合は、その方が最終的に退職したときに該当させることに意見を統一しております。それから、いったん表彰された方が次の加盟館で20年以上あるという方は、一回表彰を受けたということによって後は表彰しないことに意見を統一しております。

これらの件をご報告しておりませんでしたので追加させていただきたいと思います。

東北地区大学図書館協議会学術奨励規程

制定 昭和40年6月2日
全改 平成2年9月20日

(目的)

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下協議会という。）会則第4条に規定する事業として、学術奨励を行う。
2. 学術奨励は、加盟館の職員（以下『職員』という。）並びに職員のグループによる図書館に関する論文等に対し、『学術奨励賞』を贈るものとする。

(授賞対象)

第2条 学術奨励賞は、前年度（4月から3月まで）に公刊された論文、或は公的集会における発表、又は図書館業務に関する報告（以下『論文等』という。）等で、次の各号の一に該当するものを対象とする。

- (1) 図書館及び図書館情報学、或は書誌学等に関するもので、斯学の発展に寄与するもの
- (2) 図書館活動に関する事例報告等で、業務の研鑽、専門職としての自覚を促すもの

(審査委員会)

第3条 論文等の審査は、審査委員会が行う。

2. 審査委員会は、加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。
3. 審査委員会に主査館を置き、審査委員館の互選による。
4. 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を徴することができる。
5. 審査委員館の任期は、2年とする。

(審査の手続等)

第4条 審査の手続等については、別に定める。

(表彰)

第5条 表彰は、協議会総会において行う。

(その他)

第6条 本規程の改正は、総会の議決によらなければならない。

附 則

1. この規程は、平成2年9月20日から施行する。
2. 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年制定）は、廃止する。

学術奨励賞候補論文等審査取扱要項

制定 昭和40年6月2日
全改 平成2年9月20日

(目的)

第1条 学術奨励規程第4条に規定する候補論文等の審査の手続等については、この要項の定めるところによる。

(推薦)

第2条 各加盟館は、学術奨励規程第2条に該当すると認められる論文等に推薦調書（別紙）を添え、その年の5月末日までに常任幹事館に推薦するものとする。

第3条 常任幹事館は、候補論文等及び推薦調書（各写）を審査委員会主査館に送付し、審査を依頼するものとする。

(審査の方法)

第4条 審査は、会議又はその他の方法による。

第5条 論文等を推薦した館は、審査には加わらない。

第6条 管理職の地位にある者の論文等は、授賞の対象にはしない。

第7条 審査委員会は、審査結果を文書にてその年の7月末日までに常任幹事館に通知するとともに、総会において報告するものとする。

(授賞論文等の公表)

第8条 授賞論文等は、その授賞事由、論文等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

附 則

1. この要項は、平成2年9月20日から施行する。
2. 図書館論文審査取扱規程（昭和40年制定）は、廃止する。

(別紙)

平成 年度学術奨励賞候補論文推薦調書 大学名：

論文タイトル	
発表年月日 発表集会等名	
掲載誌巻号 発行年月日 発行機関	
発表者 又は著者名	
図書館業務歴	
論文の概要	
該当条項	第一條 第二項
推薦事由	

記念事業基金積立要綱

昭和57年10月14日制定

当協議会が記念事業を将来行うに必要な基金のために、年度予算に一定積立として計上し、積立てる。

1. 年度の積立金額は、その年度会費総額の10%を限度とする。
2. 期間は昭和57年度からとし、総会の議決により記念事業を行う予定の年度までとする。
3. 積立方法は、金融機関に口座を設け積立てる。
4. その支出については、総会の議決を経なければならない。
5. その会計事務は監査をうけ、総会に報告する。

加盟館職員名簿

(平成18年4月1日現在)

【弘前大学附属図書館】

電話番号 (0172) 39-3155
FAX番号 (0172) 39-3171
館長 (併)教授 雨森道紘
事務責任者 学術情報部長 諏訪田義美

【岩手大学情報メディアセンター図書館】

電話番号 (019) 621-6082
FAX番号 (019) 621-6088
情報メディアセンター長 斎藤徳美
事務責任者 メディアセンター課 小野寺直樹

【東北大学附属図書館】

電話番号 (022) 795-5911
FAX番号 (022) 795-5909
館長 (併)教授 野家啓一
副館長 (併)教授 倉本義夫
事務責任者 事務部長 北村明久

【東北大学附属図書館医学分館】

電話番号 (022) 717-7972
FAX番号 (022) 717-7982
分館長 (併)教授 佐藤洋
事務責任者 事務長 熊谷功

【東北大学附属図書館北青葉山分館】

電話番号 (022) 795-6368
FAX番号 (022) 795-3735
分館長 (併)教授 高木泉
事務責任者 管理係長 阿部佳市

【東北大学附属図書館工学分館】

電話番号 (022) 795-5892・5894
FAX番号 (022) 795-7120
分館長 (併)教授 松本繁
事務責任者 図書館専門員 佐々木勝義

【東北大学附属図書館農学分館】

電話番号 (022) 717-8882
FAX番号 (022) 274-2127
分館長 (併)教授 國分牧衛

事務責任者 図書係長 星政則

【宮城教育大学附属図書館】

電話番号 (022) 214-3347
FAX番号 (022) 214-3321
館長 (併)教授 青木守弘
事務責任者 図書館課長 淵辺剛

【秋田大学附属図書館】

電話番号 (018) 889-2273
FAX番号 (018) 832-4917
館長 (併)教授 石川三佐男
事務責任者 事務長 伊藤重範

【秋田大学附属図書館医学部分館】

電話番号 (018) 884-6052
FAX番号 (018) 832-6252
分館長 (併)教授 高田五郎
事務責任者 図書係長 原智子

【山形大学附属図書館】

電話番号 (023) 628-4904
FAX番号 (023) 628-4909
館長 (併)教授 芦立一郎
事務責任者 事務部長 友光健二

【山形大学附属図書館医学部分館】

電話番号 (023) 628-5054
FAX番号 (023) 628-5059
分館長 (併)教授 加藤宏司
事務責任者 図書係長 鈴木みち子

【山形大学附属図書館工学部分館】

電話番号 (0238) 26-3019
FAX番号 (0238) 26-3408
分館長 (併)教授 横山昌一
事務責任者 図書係長 石山博子

【山形大学附属図書館農学部分館】

電話番号 (0235) 28-2810
FAX番号 (0235) 28-2815
分館長 (併)教授 貫名 學
事務責任者 図書係長 青野 康雄

【福島大学附属図書館】

電話番号 (024) 548-8083
FAX番号 (024) 548-2377
館長(副学長) (併)教授 小沢 喜仁
事務責任者 事務長 古川 由照

【青森公立大学図書館】

電話番号 (017) 764-1554
FAX番号 (017) 764-1591
館長 (併)教授 谷口佳子
事務責任者 主幹 斎藤 仁

【青森県立保健大学附属図書館】

電話番号 (017) 765-2011
FAX番号 (017) 765-2012
館長 (併)教授 大和田 猛
事務責任者 主査 小野由美

【岩手県立大学メディアセンター】

電話番号 (019) 694-2070 (直通)
FAX番号 (019) 694-2071
メディアセンター長 細江 達郎
事務責任者 畠山一也 (担当) 福田 隆

【宮城大学総合情報センター】

電話番号 (022) 377-8314
FAX番号 (022) 377-8383
センター長 (併)教授 久恒 啓一
(大和キャンパス図書館)
事務責任者 企画情報班長(次長) 竹岡 純一
(太白キャンパス図書館)
事務責任者 総務企画班長(次長) 鈴木 晴夫

【秋田県立大学図書・情報センター】

電話番号 (018) 872-1561
FAX番号 (018) 872-1674
図書・情報センター長 (併)教授 森 宏一
事務責任者 教務・学生リーダー 須田 紀夫

【秋田公立美術工芸短期大学附属図書館】

電話番号 (018) 888-8106
FAX番号 (018) 888-8107
館長 (併)教授 澤田 享
事務責任者 主査 佐藤 咲子

【国際教養大学図書・情報センター】

電話番号 (018) 886-5907・5908
FAX番号 (018) 886-5912
図書・情報センター長 (併)教授 勝又 美智雄
事務責任者 ライブラー帳 勝浦 栄子

【山形県立保健医療大学附属図書館】

電話番号 (023) 686-6671
FAX番号 (023) 686-6679
館長 (併)教授 山下 隆夫
事務責任者 図書館管理専門員 榎本 ヨウコ

【山形県立米沢女子短期大学附属図書館】

電話番号 (0238) 22-7334
FAX番号 (0238) 24-7998
館長 (併)教授 嶋崎 伸一
事務責任者 図書館管理専門員 島貫繁春

【会津大学情報センター附属図書館】

電話番号 (0242) 37-2545
FAX番号 (0242) 37-2554
情報センター長 魏大名
事務責任者 情報センター事務長 菊地秀明

【会津大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (0242) 37-2458
FAX番号 (0242) 37-2412
館長 (兼)教授 時野谷 茂
事務責任者 主任司書 秋葉康江

【公立大学法人福島県立医科大学附属学術情報センター】

電話番号 (024) 547-1111 (代)
FAX番号 (024) 547-1996
センター長 平岩幸一
事務責任者 参事 大橋博行

【青森大学・青森短期大学附属図書館】

電話番号 (017) 738-2001 (内) 441~442・401~403
FAX番号 (017) 738-2034 (短大)
(017) 738-0143 (教務)
館長 (併)社会学部教授 菅 勝彦
事務責任者 主任 下山修司

【東北女子大学附属図書館】

電話番号 (0172) 33-2289
FAX番号 (0172) 33-2486
館長 (併)教授 逸見五郎

【八戸大学・八戸短期大学図書館】

電話番号 (0178) 30-1695
FAX番号 (0178) 30-1737
館長 (併)教授 畑山俊輝
事務責任者 事務室長 司書 小松良重

【八戸工業大学図書館】

電話番号 (0178) 25-8032
FAX番号 (0178) 25-8887
館長 (併)教授 野田英彦
事務責任者 副参考事馬場誠

【弘前学院大学附属図書館】

電話番号 (0172) 34-5211 (内) 153
FAX番号 (0172) 38-4071
館長 (併)教授 森田喜郎
事務責任者 図書館室長 藤田昶

【岩手医科大学附属図書館】

電話番号 (019) 651-5111
FAX番号 (019) 625-8030
館長 (併)教授 米満正美
分館長 (併)教授 渡部貞昭
事務責任者 事務室長 藤原伸一

【富士大学図書館】

電話番号 (0198) 22-4986
FAX番号 (0198) 23-5818
館長 (併)教授 牧野博
事務責任者 (併)広報役司書 井手俊一

【盛岡大学図書館】

電話番号 (019) 688-5561
FAX番号 (019) 694-1048
館長 (併)教授 土屋章
事務責任者 事務室長 司書 八木融子

【修紅短期大学図書館】

電話番号 (0191) 24-2211
FAX番号 (0191) 24-2213
館長 (併)教授 大堀均
事務責任者 図書係 小林薰子

【岩手看護短期大学図書館】

電話番号 (019) 687-3864
FAX番号 (019) 687-3894
館長 小川英行
事務責任者 司書 三田弥生

【仙台大学附属図書館】

電話番号 (0224) 55-1399
FAX番号 (0224) 57-2062
館長 (併)教授 阿部武彦
事務責任者 課長 川村隆

【仙台白百合女子大学図書館】

電話番号 (022) 372-3254
FAX番号 (022) 375-4343
館長 (併)教授 大本泉
事務責任者 事務長 生出登

【石巻専修大学図書館】

電話番号 (0225) 22-7718
FAX番号 (0225) 22-7875
館長 (併)教授 山川紀夫
事務責任者 学務課長 石川栄一

【東北学院大学中央図書館】

電話番号 (022) 264-6491
FAX番号 (022) 264-6490
館長 (併)教授 佐藤司郎
事務責任者 図書情報課長 三浦陸

【東北学院大学多賀城キャンパス図書館】

電話番号 (022) 368-1206

FAX番号 (022) 368-0777

分 館 長 (併)教 授 佐 藤 彰
事 務 責 任 者 課長補佐 高 橋 富士男

【東北学院大学泉キャンパス図書館】

電話番号 (022) 375-1171

FAX番号 (022) 375-2121

分 館 長 (併)教 授 小 林 裕
事 務 責 任 者 課長補佐 早 坂 孝 司

【東北工業大学附属図書館】

電話番号 (022) 229-1151

FAX番号 (022) 229-1331

館 長 (併)教 授 樋 口 龍 雄
事 務 責 任 者 事 務 長 須 田 正 紀

【東北福祉大学図書館】

電話番号 (022) 717-3319

FAX番号 (022) 717-3339

館 長 (併)教 授 及 川 三千男
事 務 責 任 者 課長 総括 石 田 信 孝

【東北文化学園大学総合情報センター図書館】

電話番号 (022) 233-3878

FAX番号 (022) 233-9453

館 長 センター長 山 崎 恭 平
事 務 責 任 者 事 務 局 長 植 野 兼 司

【東北薬科大学附属図書館】

電話番号 (022) 727-0061～0064 (直通)

FAX番号 (022) 273-5255

館 長 (併)教 授 水 柿 道 直
事 務 責 任 者 事 務 部 長 高 橋 誠 一

【宮城学院女子大学図書館】

電話番号 (022) 279-5658

FAX番号 (022) 279-6077

館 長 (併)教 授 田 中 和 夫
事 務 責 任 者 事 務 室 長 大 坂 田 茂 子

【尚絅学院大学図書館】

電話番号 (022) 381-3440

FAX番号 (022) 381-3441

館 長 (併)教 授 松 田 憲 次 郎
事 務 責 任 者 図 書 課 長 木 村 久 美 子

【秋田経済法科大学附属図書館】

電話番号 (018) 836-2405

FAX番号 (018) 836-4402

館 長 (併)教 授 伊 藤 譲 朗
事 務 責 任 者 課 長 山 上 昭 子

【東北芸術工科大学図書館】

電話番号 (023) 627-2044

FAX番号 (023) 627-2085

館 長 教 授 兼 任 西 村 宣 起
事 務 責 任 者 事 務 長 加 藤 芳 彦

【羽陽学園短期大学附属図書館】

電話番号 (023) 655-2385

FAX番号 (023) 655-2844

館 長 (併)教 授 田 中 ふみ子
事 務 責 任 者 林 和 子

【山形短期大学附属図書館】

電話番号 (023) 688-7544

FAX番号 (023) 688-6438

館 長 (併)助教授 伊 藤 弘 昭
事 務 責 任 者 課 長 高 橋 節 子

【いわき明星大学図書館】

電話番号 (0246) 29-7121

FAX番号 (0246) 29-5001

館 長 (併)教 授 前 田 好 美
事 務 責 任 者 グループ長 吉 田 裕 樹

【奥羽大学図書館】

電話番号 (024) 932-8931

FAX番号 (024) 932-8944

館 長 (併)教 授 安 藤 勝
事 務 責 任 者 課 長 伊 藤 喜 章

【郡山女子大学図書館】

電話番号 (024) 932-4848 (代)

FAX番号 (024) 924-1394

館長 (併)教授 竹川重男
副館長 " 二宮和比古
事務責任者 司書係長 (併)非常勤講師 和知剛

【昌平図書館(東日本国際大学・いわき短期大学)】

電話番号 (0246) 35-0416

FAX番号 (0246) 25-9188

館長 (併)教授 名越智恵子
事務責任者 係長 司書 織内春江

【日本大学工学部図書館】

電話番号 (024) 956-8639

FAX番号 (024) 956-8869

館長 (併)教授 森芳信
事務責任者 課長 渡部直

【桜の聖母短期大学図書館情報センター】

電話番号 (024) 533-3840 (直通)

FAX番号 (024) 533-3840

図書館長 助教授 ウィリアム・スタインマン
事務責任者 事務職員(司書) 津田文子

【福島学院大学図書館情報センター】

電話番号 (024) 553-2087

FAX番号 (024) 553-8253

館長 (兼)教授 片山邦子
事務責任者 (兼)助教授 呂学如

東北大学附属図書館所蔵

狩野文庫マイクロ版集成

補遺版

江戸文化の宝庫『狩野文庫』マイクロ版集成の補遺版(サブルメントコレクション)です!

門	分野	リール数	金額(税込み)
第1門	1-① 書史・解題・書目	3	75,600
	1-② 類書	2	50,400
	1-⑥ 漢学者編著 隨筆 雜考	1	25,200
	1-⑦ その他 隨筆 雜考	3	75,600
合計			226,800
第2門	2-① 教学総雜	1	25,200
	2-③ 神道総雜・神典・祝詞・準神典・中世神道・仏教神道・儒教神道	1	25,200
	2-⑤(6) 儒学総雜・日本、経書(易、書、詩、礼、春秋、考經) 四書総雜・日本、大学、中庸、論語、孟子	2	50,400
	2-⑧ 儒家(支那人、日本人)	2	50,400
	2-⑨ 仏教附道教並びに日本耶蘇教〔仏教総雜・仏事・寺院、大藏經・仏教叢書、 仏典論疏、悉曇・聲明、道教、日本耶蘇教〕	2	50,400
	2-⑪ 仏教各宗一:天台、真言、修驗道	2	50,400
	2-⑫ 仏教各宗二:禅	1	25,200
	2-⑯⑰ 教育総雜、教訓、武士道、心学、幼学総雜 實語教、往来物、古状、女学、考節錄、洋楽	1	25,200
	合計		
	12 302,400		
第4門	4-① 国語	2	50,400
	4-② 支那語	2	50,400
	4-③ 西洋各国語	2	50,400
	4-④ 和漢文学総雜・国文学総雜	1	25,200
	4-⑤(6)(8)(9) 和歌総雜・歌学・歌論 万葉集 私撰集・家集 類題集・歌合・百首・連歌	1	25,200
	4-⑩ 俳諧・俳文	1	25,200
	4-⑪ 日記・紀行・消息文	1	25,200
	4-⑫⑬ 物語 和文〔擬古文〕	1	25,200
	4-⑮⑯⑰⑲ 御伽草紙・仮名草紙類 浮世草紙類 洒落本附遊郭本 草双紙・合巻	1	25,200
	4-㉑ 謡曲・淨瑠璃・脚本	1	25,200
	4-㉔ 滑稽小説・巻本・茶番・異聞・怪談	2	50,400
	4-㉕ 漢文学総雜・詩文話・啓箋	1	25,200
	4-㉖ 総集	2	50,400
	4-㉗㉘ 別集 詞曲小説	1	25,200
	4-S* 国文学・明治文学附西洋文学翻訳物	1	25,200
	合計		
	20 504,000		
	総計		
	41 1,033,200		

*4-Sは本体がなく、補遺のみです。

狩野文庫 第4門:語学・文学 単品複写サービス開始

簡易版一冊¥11,550(税込み) 上製版一冊¥14,700(税込み)

これまでマイクロ版でしか提供されてこなかった「狩野文庫マイクロ版」の第4門に限り、収録書籍を一点一点、冊子体でご提供する新サービスです。下記URLに掲載の各書籍のSEQ No.並びに書誌事項にてご注文を承ります。

http://www.maruzen.co.jp/home/irn/kano/kano_top.html



ESTABLISHED IN 1869 [学術情報ナビゲーション事業部 企画開発部]

〒103-8244 東京都中央区日本橋3-9-2 TEL 03(3272)3867 / FAX 03(3272)3921

紀伊國屋書店が提供する プロフェッショナルのためのインターネット書店

BookWeb Pro

URL: bookwebpro.kinokuniya.co.jp

- 国内最大級。充実の書誌データベース！
和書 200 万件、洋書 300 万件(在庫 140 万件)
- ドイツ書、フランス書、洋古書(1600 万件)
検索・注文も OK !
- クレジットカードか銀行口座振替の
自動決済で、洋書がお安く！
- 公費請求書による決済が可能！

■ 多彩な選書メニュー(例)

書評選書	学術新刊書棚	リコメンドサービス
和書:6 大新聞と「週刊読書人」 (読売新聞は書評本文付) 洋書:英米の著名な 7 書評誌	当社の専門スタッフが精選した 分野別の学術新刊・近刊書棚 (和洋・毎月更新・累積)	予めご登録いただいた著者・ タイトルワード・ジャンル等に 応じて書籍リストを表示・更新

The screenshot shows the BookWeb Pro homepage with several callouts highlighting specific features:

- A callout labeled "リコメンドサービス" points to a section where recommended books are listed based on user preferences.
- A callout labeled "多彩な選書メニュー" points to a sidebar menu on the left side of the page.
- A callout labeled "書評本文がポップアップ！" points to a book detail page where the review text is displayed in a pop-up window.

Below the main content area, there is a box containing the text: "BookWeb Pro と併せてご利用下さい！"

Kinokuniya e-Alert

- ◆ 学術新刊情報 Web+メール配信サービス(無料)
- ◆ ご希望分野の学術書新刊・近刊(和洋)をご案内
- ◆ **BookWeb Pro** にリンクしてそのまま注文 OK !

URL: ealert.kinokuniya.co.jp

株式会社 紀伊國屋書店

営業企画部 TEL.03-5469-5911 FAX.03-5469-5951 E-mail: eigyo@kinokuniya.co.jp

弘前営業所 TEL.0172-36-3755 FAX.0172-36-5649 E-mail: hirosaki@kinokuniya.co.jp

盛岡営業所 TEL.019-652-1404 FAX.019-624-2409 E-mail: morioka@kinokuniya.co.jp

仙台営業所 TEL.022-227-0301 FAX.022-266-5312 E-mail: sendai@kinokuniya.co.jp

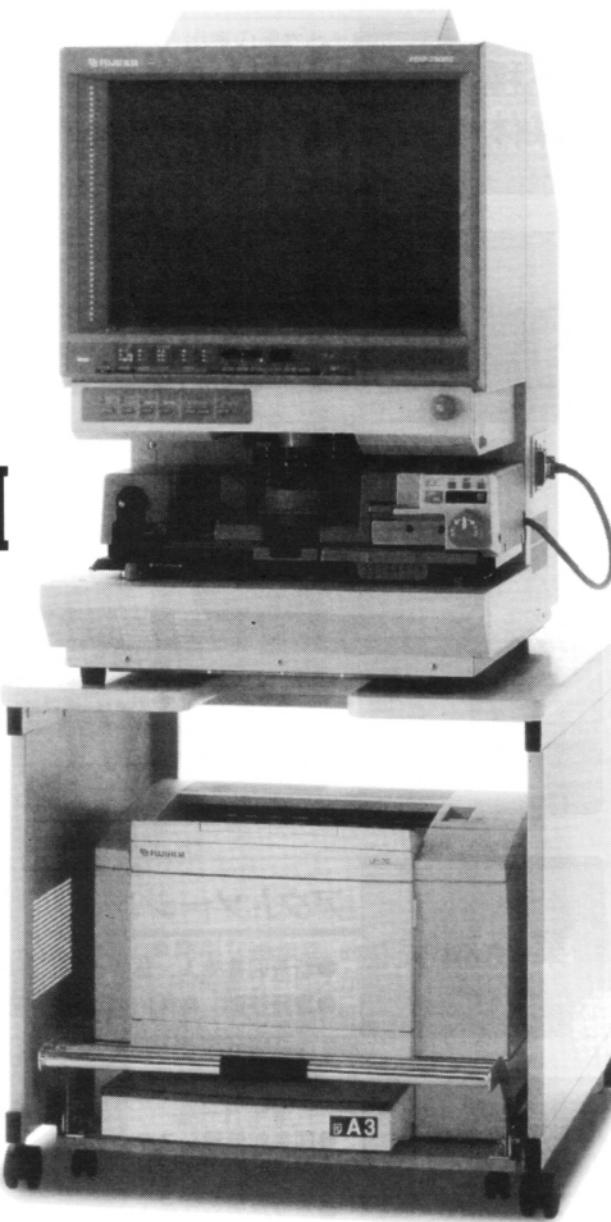
シンプル&スマートに
マイクロフィルムを活用

デジタルイメージプリンター

FDIP 7500II

先進デジタル技術がもたらす、
高画質と多機能。
さらに拡張性も向上。

- デジタル技術で写真・文字・細線も鮮明。
- ファーストプリント13秒以下。
- 前面集中パネルで簡単操作。
- 多彩なプリント機能と画像編集機能。
- 省スペース、イージーメンテナンス。
- PC接続でマイクロフィルムスキャナーに。



コンパクトボディにカンタン操作、快速・快速なデジタルイメージプリンター

デジタルイメージプリンター

FDIP 5500II

- 最大A3サイズまで、プリントサイズやタテ・ヨコが自由
- 最高600dpiの解像度で、高画質スキャン&プリント
- 1%刻み、50~200%までカバーするデジタルズーム
- センタリング／フルフレーム、傾き補正なども自動
- PCとの接続で、マイクロフィルムスキャナーに

富士写真フィルム株式会社
<http://fujifilm.jp/im/>

■産業機材部
〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30
TEL(03)3406-2245

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11
TEL(06)6205-6511

図書館製本80年『ナカバヤシ』の 図書館サポート

各種資料
媒体変換

各種資料のデジタル化へのトータルサポート

- デジタル画像作成（保存用、Web公開用）
- 検索項目入力（テキスト、XML形式等に対応）

製 本

創業80年の伝統を守る『品質と技術力』

- 雑誌合冊製本
- 図書修理製本
- 古書修理製本
- 行政文書製本
- 新聞製本
- その他あらゆる製本



資料保存

歴史的史料の修復・保存・媒体変換をトータルで提案

修 复

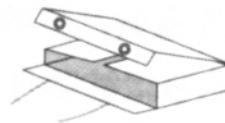
- 古文書、行政文書修復
- 裏打ち
- 脱酸性化
- リーフキャスティング
- 軸装、額装
- 革製本修復

保 存

- アーカイバルBOX（中性紙保存箱、封筒、ホルダー等）
- 帙、たとう
- 桐箱
- 書籍燻蒸、カビ除去

媒体変換

- マイクロフィルム
- デジタル画像作成



業務請負

アウトソーシング、運用サポート

- 新着図書受入、装備請負
- 雑誌受入、製本準備
- 図書、雑誌選及入力
- 書籍移動
- タトルテープ、ラベル貼付請負
- 各種データ入力

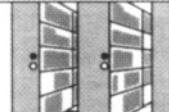
図書館
システム

- 図書館管理システムの販売
- BDS、ABC、入退館システムの販売
- 高速検索システム（SAVVY）の販売



図書館用品

- スチール、木製書架
- 電動式、手動式移動書架
- バーコードラベル印刷



ナカバヤシ株式会社

<http://www.nakabayashi.co.jp/>

お問い合わせは、下記まで

東京支社 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1 03 (3558) 1251
名古屋支店 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2丁目2-6 052 (661) 3771

札幌営業所 011 (616) 7884 仙台営業所 022 (284) 3045
水戸営業所 029 (254) 1534 広島営業所 082 (294) 8306
金沢出張所 076 (268) 5830 高松出張所 087 (831) 5825

大阪支社 〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1-23 06 (6930) 6668
福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11 092 (641) 3661

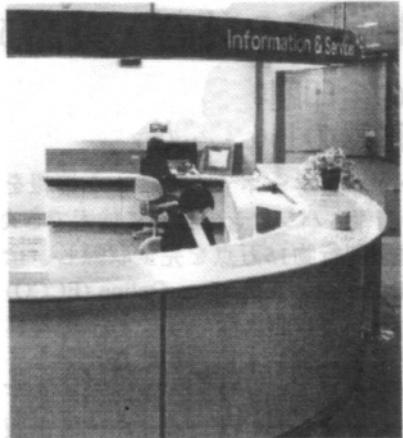
横浜営業所 045 (952) 0501
静岡出張所 054 (238) 0255



〈導入成果の確かさ〉でご好評をいただいています。

オートライブの最大の特徴は、膨大な図書・資料を効率的に保管し合理的な検索・出納システムによって利用者が求めた情報を迅速に、的確に提供できることです。

出入庫の速さとともに、図書のサイズ別フリーロケーションとダブルコンテナ格納方式の採用により高密度保管と高速出納を両立させました。



Auto Lib

自動化書庫・オートライブ

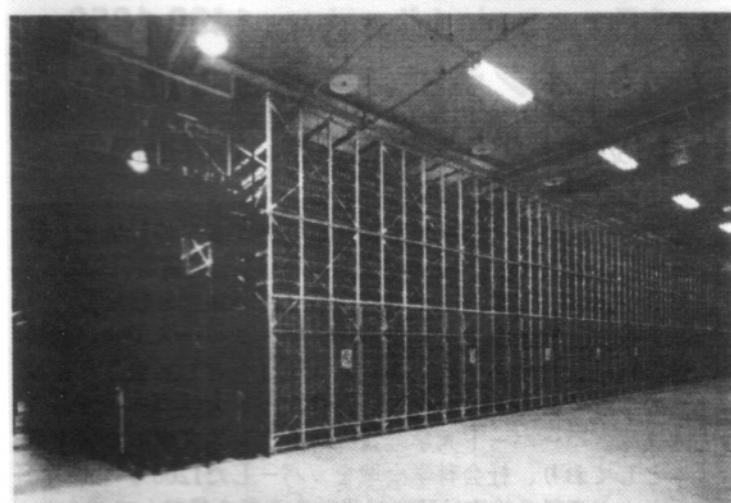
オートライブの特長

- 簡単な操作で、的確・スピーディな利用者サービスが実現します。
- すべての自動化により、大幅な省力効果が得られます。
- 返却作業及びカウンター業務が軽減されます。
- 保管密度が極めて高く、大きなスペースセービング効果が得られます。
- コンピュータによる蔵書点検など管理レベルが飛躍的に向上します。

■受注実績20件(平成18年2月現在)

■大学納入実績

国際基督教大学 ミルドレッドトップスマーカー図書館
青山学院大学 相模原キャンパス
大東文化大学 板橋キャンパス
立命館大学 BKCメディアセンター
九州大学附属図書館 筑紫分館
東京大学 柏図書館



よりよい保管システムを提供する



日本ファイリング

日本ファイリング株式会社

本社／〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2(新御茶ノ水アーバンビル)
支店／大阪・名古屋 営業所／札幌・仙台・大宮・横浜・広島・福岡

ISO14001・ISO9001
認証取得企業

資料請求・お問い合わせは ▶ <http://www.nipponfiling.co.jp> ☎ 0120-808-977 電話受付/月～金(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00

無料

雄松堂書店 オンラインデータベース トライアル 実施中!!

Eighteenth Century Collections Online 18世紀英語・英国刊行物データベース

18世紀刊行の英語・英語文献3300万頁をフルテキスト検索!

◆英語圏の全印刷物を網羅、あらゆる分野・形態のものを収録

21世紀の我々がインターネットで様々な情報を引き出せるように、18世紀の情報もパソコンで自在に検索できたら—。

18世紀の英語圏刊行物15万点を完全収録し、全文検索を可能にするEighteenth Century Collections Online (ECCO) は、「18世紀のインターネット」とは言えないまでも、それに限りなく近い環境を研究者や学生に提供する画期的なオンライン商品です。ジョンソン、ロック、スワイフト、ケンペル、ギボン、その他無数の文筆家たちが遺した3300万頁にのぼる出版物の一語一句まで、お手元のパソコンで探し当て、原書どおりの画像を閲覧することができます。ECCOの提供する驚異的な検索・閲覧環境をぜひご体感ください。検索サイトに「雄松堂 ECCO」で検索下さい。詳細ページにアクセスできます。



The Making Of the Modern Economy 社会科学系学術図書データベース

The Goldsmiths'-Kress Library of Economic Literature 1460-1850

「ゴールドスミス・クレス」が、オンラインで閲覧可能に。



◆「近代」のルーツを探る、世界最高の社会経済史コレクション

本データベースは15世紀半ばから1850年までの経済史・経営史・社会思想史を中心とする社会科学関係の書籍61,000点、および同年代に創刊された定期刊行物466点を収録し、フルテキスト検索を可能にする一大データベースです。収録資料は社会科学系の歴史的コレクションとして望みうる最高のものであると言われているロンドン大学ゴールドスミス文庫とハーバード大学経営大学院クレス文庫の蔵書を原本としており、社会科学全域をカバーした1200万ページにもおよぶ資料の検索は研究に貴重な資料を供給します。

検索サイトに「雄松堂 MOME」で検索下さい。

詳細ページにアクセスできます。

THOMSON
GALE



株式会社 雄松堂書店

-日本総販売代理店- <http://www.yushodo.co.jp>

〒160-0008 東京都新宿区三栄町29 Tel 03-3357-1411 (代) Fax 03-3356-8730 E-mail: sales@yushodo.co.jp

東北地区大学図書館協議会誌 第 57 号

平成 18 年 4 月

発 行 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館内

東北地区大学図書館協議会

☎ (022) 795-5910

編 集 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館
